

武蔵野市の年次財務報告書

平成19年度版

平成20年9月

武 蔵 野 市

目 次

はじめに	1
§ 1 武蔵野市の財政状況について	
I 武蔵野市の財政状況	2
II 近隣市との比較	9
§ 2 武蔵野市の財務諸表について	
I 貸借対照表	13
II 行政コスト計算書・正味財産増減表	15
III キャッシュ・フロー計算書	17
§ 3 財務諸表の説明と分析について	
I 貸借対照表	19
【資産の部】	28
【負債の部】	34
【正味財産の部】	37
【注記】	38
II 行政コスト計算書	40
III キャッシュ・フロー計算書	45
§ 4 連結会計 武蔵野市の連結財務諸表について	
I 連結貸借対照表	47
II 連結行政コスト計算書・連結正味財産増減表	49
III 連結キャッシュ・フロー計算書	51
§ 5 連結財務諸表の説明と分析について	53
連結貸借対照表（明細表）	63
連結行政コスト計算書（明細表）	65
連結キャッシュ・フロー計算書（明細表）	67
会計間取引明細	69
【資料】主な建物一覧表	71

※金額は四捨五入しているため、合計値と内訳が一致しない場合があります。

はじめに

武蔵野市では、平成 10 年度決算から市民に対する説明責任を果たすため「武蔵野市のバランスシート」を独自方式で作成し、公表してきました。今回の平成 19 年度決算で 10 年となります。

この 10 年の中では、平成 14 年度決算から一般会計、特別会計、公営企業会計に財政援助出資団体（市が出資、出えんなどを行い、密接な関連を有する団体）の会計までを含めた連結貸借対照表、連結行政コスト計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結正味財産増減表を作成するなどの改善を図ってまいりました。

平成 18 年 8 月の「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」において地方公会計改革が示され、一定以上の都市で 3 年以内の財務 4 表の作成が求められ、東京都 26 市においても総務省方式改訂モデルでの財務諸表作成の検討を共同して進めております。平成 18 年度決算までに連結の財務 4 表を公表していたのは、26 市では本市のみです。また、本市と同時期から財務諸表を公表していた東京都も本市同様独自方式を採っています。

また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、平成 19 年度決算から、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の四つの健全化判断比率の公表が定められました。この法律では、平成 20 年度決算からは、健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上である場合、市町村は財政健全化計画の策定が求められることとなり、市町村の健全な財政運営が求められています。これらは、決算の正確性を担保するための財政指標の監査、連結による普通会計以外の負債の把握、議会の監視体制の強化、将来負担比率によるストック指標の公表など財政破綻防止への対応といえます。

本市の財政状況も、税制改正などの影響もあり歳入面で今後も厳しくなることが予想されます。また、市有施設の更新など歳出面でも負担の増加が予想されます。

財務諸表を作成する目的は、市民や市長、議員の政治的意思決定の際の有用な情報提供にあります。これらの財務情報を財政規律とコスト意識をもった行政運営に生かし、サービスの充実を図りながら、財政の健全性を確保してまいります。

今後も年次財務報告書が、より分かりやすく、市政を理解する上で役に立つ財務情報となるよう、さらに改善を図ってまいります。

§ 1 武蔵野市の財政状況について

I 武蔵野市の財政状況

1 主な財政指標

武蔵野市の過去5年間の財政力指数、経常収支比率、公債費比率、実質公債費比率、実質収支比率は、次のとおりです。財政力指数と公債費比率の健全度は全国でも上位にあります。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
財政力指数(3年平均)	1.598	1.707	1.629	1.716	1.650
経常収支比率	80.8%	82.0%	79.0%	75.9%	86.4%
公債費比率	6.3%	4.9%	4.6%	3.9%	3.5%
実質公債費比率(3年平均)	—	—	5.4%	8.5%	3.1%
実質収支比率	5.5%	6.1%	8.3%	7.1%	7.5%

※用語の説明

○財政力指数：財政基盤の強さや余裕度を示す指標です。1を超えるほど財源に余裕があり、1以上になると普通交付税の対象外となります。算定式は次のとおりです。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額（標準的な状態で徴収が見込まれる税収入）}}{\text{基準財政需要額（標準的な行政を行うために必要な経費）}}$$

○経常収支比率：財政構造の弾力性を示す指標で、70～80%が望ましいと言われていています。都市部では高い傾向にありますが、比率が高いと新たな行政サービスへの対応が困難になります。算定式は次のとおりです。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源（人件費や扶助費等、毎年経常的に発生する支出に充てられる一般財源）}}{\text{経常一般財源総額（地方税等、毎年収入される使いみちの制限がない収入）}}$$

○公債費比率：税などの一般財源をどれくらい借入金の返済に充てているかの指標です。この比率が高くなると財政の硬直化につながるため、10%を超えないことが望ましいとされています。算定式は次のとおりです。

$$\text{公債費比率} = \frac{A - (B + C)}{D - C} \times 100$$

A：当該年度の普通会計にかかる元利償還金

B：元利償還金に充てられた特定財源

C：普通交付税の算定において基準財政需要額に算入された公債費

D：当該年度の標準財政規模

○実質公債費比率：平成18年4月に地方債制度が「許可制度」から「協議制度」に移行したことに伴い導入された新しい財政指標で、公債費による財政負担の程度を客観的に示す指標として、公営企業債に対する繰出金等の公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合を表しています。地方債の「協議制度」の下では、市町村は都道府県知事に協議すれば、原則として自由に地方債を発行できますが、実質公債費比率が18%以上の団体については、引き続き地方債の発行に許可を要します。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100 \text{ の3か年平均}$$

○実質収支比率：標準財政規模に対する実質収支の割合を言います。実質収支とは、その年度に属すべき収入と支出の実質的な差額（形式収支から繰越すべき財源を差し引いたもの）、つまり「黒字」または「赤字」を意味しています。一般的に黒字比率は3～5%が望ましいとされています。

$$\text{実質収支比率} = \frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

2 財務諸表からみた財政状況

武蔵野市の財政状況を、次の表にある財政指標を使いながら、3つの視点から説明します。

- (1) 財務内容は健全で、行政サービスの提供は持続可能か
- (2) 市債償還と退職手当の支払能力はあるか、また今後予想される市有施設の更新・新設に対応できるか
- (3) 効率的で効果的な行政経営が行われているか

過去5年間の財政状況（一般会計）

（単位：億円）

財務諸表		説明	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度
貸借 対照表	借入金 （市債）	財政の持続可能性を見る	282	284	273	260	251
	正味財産	資産形成における世代間の負担の公平性を見る	2,059	2,100	2,163	2,259	2,308
行政 コスト 計算書	収入	サービスのコストを賄う財源（市民の負担）	508	487	511	521	498
	支出	提供されたサービスのコスト（市民の受益）	437	456	456	437	448
	収支差額	正味財産の増加（受益と負担の差額）	71	31	55	84	50
キャッシュ・ フロー計算書	行政活動の 資金収支	行政活動（サービス・資産形成活動）の現金収支	12	△26	50	56	30

(1) 財務内容は健全で、行政サービスの提供は持続可能か

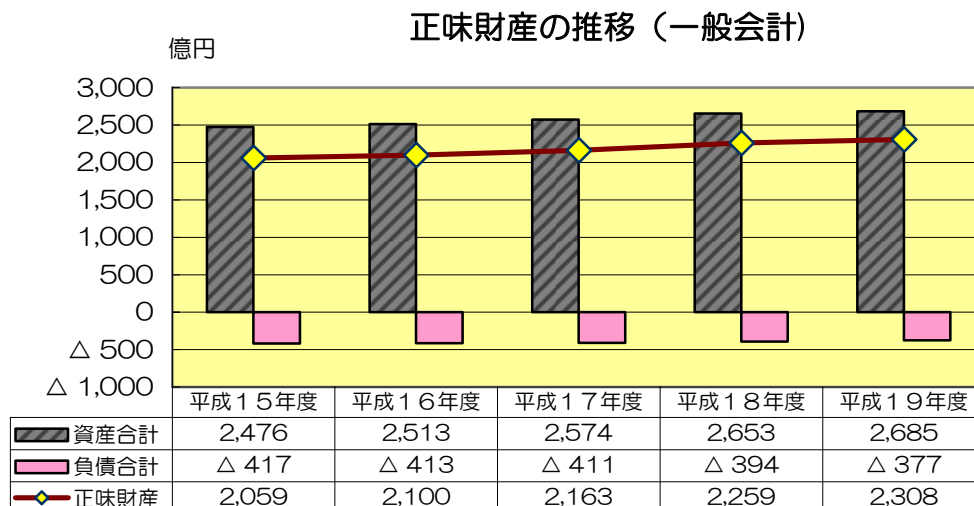
① 借入金は健全な水準にあります

平成 19 年度末の一般会計の借入金残高は 251 億円です。これは学校施設などの有形固定資産の形成などに充てられており、有形固定資産の残高（減価償却後）2,330 億円に占める借入金の割合は 10.8%（251 億円／2,330 億円）と低い水準になります。また、市債残高 251 億円は、平成 19 年度の収入のうち一般財源 399 億円の 0.63 年分に相当します。

平成 20 年度地方財政計画によれば、わが国の地方自治体全体では地方税収入などの一般財源の収入（59.9 兆円）の約 3.29 倍の長期債務残高（197 兆円）（地方債 137 兆円、交付税特別会計借入金（地方負担分）34 兆円、公営企業債（普通会計負担分）26 兆円の合計）を抱えています。さらに、平成 20 年度予算によれば、政府（国）は一般会計歳入の税収等の収入（54 兆円）の 11 倍もの長期債務残高（595 兆円）があります。これに対して、欧米における健全な借入金の水準は、税収の 1～2 年分程度となっています。武蔵野市における市債残高は、健全な水準にありますが、財政規律を緩めることなく堅実な財政運営を行っていきます。

② 正味財産は維持されています

平成 19 年度末の一般会計の正味財産（資産と負債の差額）は 2,308 億円になります。正味財産比率（正味財産合計／資産合計）は、86.0%と高い水準を維持しています。これは、主に現世代の負担により資産を形成してきたことを意味し、将来世代への負担が少なく、世代間負担の公平性からも十分責任を果たしているといえます。



③ 連結会計においても借入金や正味財産は良好な水準にあります

一般会計と連結会計（一般会計・特別会計・公営企業会計・財政援助出資団体）を比較すると、連結会計の資産は 3,312 億円、負債は 643 億円、正味財産は 2,669 億円となり、それぞれ一般会計の 1.23 倍、1.71 倍、1.16 倍に増加します。正味財産比率は、一般会計の 86.0%から 80.6%へと減少します。

また、借入金残高と収入を比較すると、平成 19 年度において一般会計では 1 年間の収入のうち一般財源の 0.63 年分であるのに対して、連結会計では、主に武蔵野市土地開発公社の借入金残高が大きいことなどにより 1.03 年分になります。武蔵野市土地開発公社の借入金残高は、平成 12 年度末に 195 億円ありましたが着実に減少しており、平成 19 年度末には 87 億円となっています。今後も公社の保有する土地の有効活用を図ることにより、市民サービス水準の向上に努めます。

一般会計と連結会計の比較（平成 19 年度）

（単位：億円）

	一 般 会 計		連 結 会 計	
	金 額	構 成 比 (%)	金 額	構 成 比 (%)
総資産	2,685	100.0%	3,312	100.0%
うち有形固定資産	2,330	86.8%	2,834	85.5%
総負債	377	14.0%	643	19.4%
うち借入金	251	9.3%	458	13.8%
正味財産	2,308	86.0%	2,669	80.6%

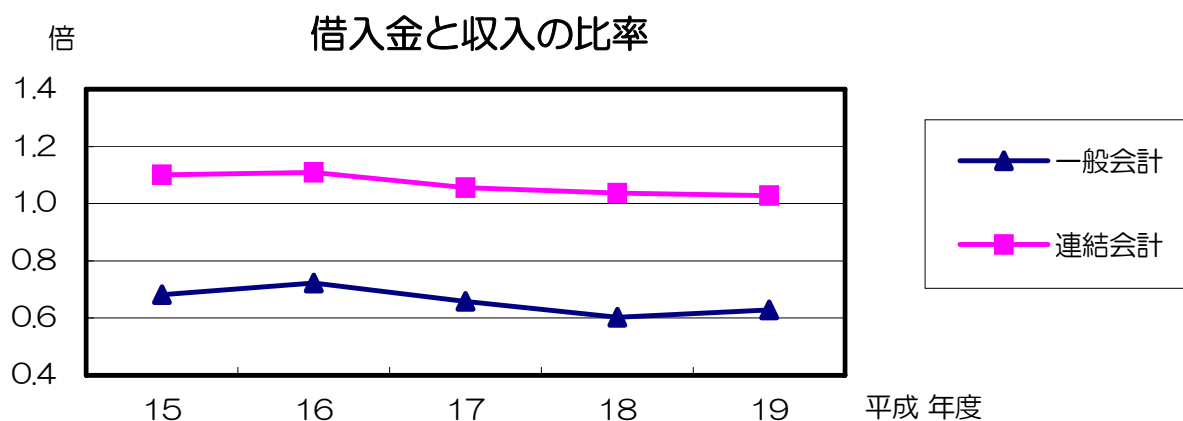
（2）市債償還と退職手当の支払能力はあるか、また今後予想される市有施設の更新・新設に対応できるか

① 市債残高は健全な水準にあり、退職手当や資産の更新・新設に対応できるように基金を積み立てています

第 1 に、市債残高は健全な水準にあり、一般会計では収入のうち一般財源の 0.63 年分、連結会計では 1.03 年分に相当し、償還能力は非常に高いといえます。

第 2 に、退職手当については、退職者数がピークとなる平成 20 年度から 22 年度の 3 年間で合計 36 億円程度の退職金の支払を見込んでいます。一年度の平均的な退職金の支払額は 8 億円程度ですので、この 3 年間の負担増はおよそ 12 億円となります。

第 3 に、市有施設の更新・新設のための自己資金としては、公共施設整備基金などの基金を積み立てており、平成 19 年度末の残高は、公共施設整備基金、学校施設整備基金、吉祥寺まちづくり基金、公園緑化基金、武蔵境市民まちづくり基金を合わせて、186 億円になります。平成 18 年度と比べて 5 億円の減となっていますが、これは、前年度からの繰越金などの積立 26 億円があったものの、農水省跡地利用施設建設用地購入や小中学校の修繕などのために 31 億円の取崩しを行ったことによるものです。市有施設については、「公共施設保全計画」（平成 16 年度策定）に基づいて維持修繕工事を実施し、現在策定中の「学校改築計画」、「中期資産管理計画」、「下水道総合計画」などに基づいて計画的な維持管理を行います。



(単位: 億円)

	一般会計					連結会計				
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
借入金	282	284	273	260	251	510	490	487	496	458
収入(一般財源)※	414	393	414	431	399	463	442	461	478	445
借入金÷収入	0.68	0.72	0.66	0.60	0.63	1.10	1.11	1.06	1.04	1.03

※ 収入(一般財源)は、一般会計では、市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税及び交通安全対策特別交付金の合計、連結会計ではそれらに水道・下水道使用料を加えたものとしています。

② 資金(キャッシュ・フロー)はバランスの良い資源配分を行っています

資金の動きをキャッシュ・フロー計算書でみると、行政サービスに関する収入は、行政サービスの消費、インフラ資産や建物施設等の資産形成、市債の償還や基金の積立てにと、バランス良く資源配分されています。

平成 19 年度の資金収支については、行政サービスの収支差額は 66 億円で、ここから市債を 24 億円返済して残った 42 億円を資産形成や積立金に充てました。資産形成収支の資金不足は 64 億円で、この資金不足には前述の 42 億円のうちの 13 億円と、市債発行による 15 億円、基金からの繰入金 37 億円を充てました。資産形成に関連した市債の発行は、資産形成に関する支出の 16.1%となり、平成 18 年度(6.8%)より高くなりましたが、平成 14 年度から平成 18 年度までの 5 年間の平均(17.8%)に比べると低い比率になっています。

過去5年間のキャッシュ・フロー（一般会計）

（単位：億円）

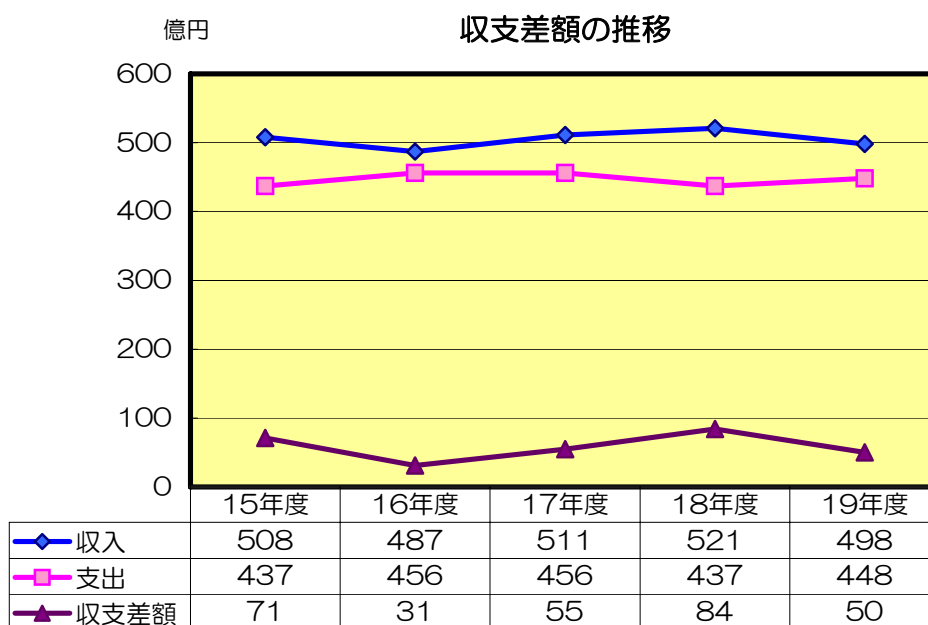
	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
行政サービスに関する収入	506	486	510	519	493
収支差額（総計）	△7	10	0	△1	2
行政サービス	79	52	92	108	66
資産形成	△67	△78	△42	△52	△64
財務活動	△19	36	△50	△57	0
歳計現金（形式収支）	19	29	29	28	30

（3）効率的で効果的な行政経営が行われているか

① 行政コスト計算書の収支差額は黒字を維持しています

行政コスト計算書の収支差額は、1年間に提供されたサービスのコストが当期の収入で賄われているかどうかを示すものです。平成19年度は黒字が50億円となり、平成18年度の84億円から34億円の減少となりました。これは、法人市民税が減少した一方で、人件費等が増加したこと等によります。平成15年度から平成19年度の5年間の収支差額の平均は、58億円程度となっています。

収支差額がプラスであることは、1年間の税金（負担）によって、1年間のサービスのコスト（受益）が賄われていることになり、受益と負担が適正に対応していることを意味します。これはまた、将来世代への負担の先送りがないことを意味しています。



以上のように、平成 19 年度の武蔵野市の財政状況は、借入金や正味財産の水準も良好であるといえます。

これからも、施設の維持管理を適正に行いつつ、将来必要となる、学校をはじめとする市有施設の更新のための資金として基金に積立てを行うなど、計画的な財政運営を行っていきます。

Ⅱ 近隣市との比較

Ⅰ 武蔵野市の財政状況で述べた主な財政指標について、近隣の三鷹市、小金井市、西東京市と比較しました。武蔵野市の財政力指数と公債費比率の健全度は全国でも上位にあります。また、経常収支比率は多摩 26 市の中では健全な水準にあるといえます。

なお、財務諸表については、武蔵野市以外は総務省方式で作成されていますので、直接比較することは難しいのですが、財政的な特徴が出ている項目もあり、参考として記載いたしました。

1 財政指標（平成 19 年度）

財政指標	武蔵野市	三鷹市	小金井市	西東京市	多摩 26 市平均
財政力指数（3年平均）	1.650（1）	1.267（4）	1.129（9）	0.969（16）	1.061
経常収支比率	86.4%（2）	89.8%（8）	92.3%（11）	90.8%（10）	93.4%
公債費比率	3.5%（1）	9.1%（17）	8.7%（15）	7.3%（11）	8.5%
実質公債費比率（3年平均）	3.1%（3）	7.5%（18）	7.6%（19）	3.7%（5）	5.9%
実質収支比率	7.5%（1）	3.6%（14）	4.7%（7）	3.4%（15）	3.8%

※（ ）内は、多摩 26 市中順位

財政力指数は、武蔵野市・三鷹市・小金井市が 1 を超え、普通交付税が交付されない「不交付団体」になっています。26 市のうち不交付団体は 15 市です。

経常収支比率は前年度 75.9%から 86.4%に上昇しました。人件費や物件費などが増えた一方で市税などが減少したためです。26 市では 70%台の市はなく 80%台は 8 市です。

武蔵野市の公債費比率が低いのは、他市と比べて収入が多く（個人市民税が多い）、借入金が比較的少ないためです。（3 近隣市の債務と収入の比率 を参照）

武蔵野市の実質公債費比率が他の指標と比べて順位が低いのは、公債費に準ずる債務負担行為に係るものとして計上されている武蔵野市土地開発公社からの用地の買戻しの額が大きいからです。

実質収支比率は、通常 3～5%が適当とされていますが、武蔵野市の場合は若干高い傾向にあります。

2 財務諸表（平成 18 年度）

近隣市の平成 18 年度の財務諸表を比較しました。武蔵野市は独自方式で、他の三市は総務省方式で作成しています。武蔵野市方式では、総務省方式を基本としつつ、固定資産については、公有財産台帳及び備品台帳からその残高を確認し、個別資産の取得価額を積み上げる方法

を採っています。また、退職給与引当金は、退職給付会計の考え方をもとに、個人ごとの金額を積み上げています。各表の作成状況は次のとおりです。

団体名		武蔵野市				三鷹市				小金井市				西東京市			
財務諸表の体系		貸借対照表	行政IT計算書	物功・加計算書	正味財産増減表	貸借対照表	行政IT計算書	物功・加計算書	正味財産増減表	貸借対照表	行政IT計算書	物功・加計算書	正味財産増減表	貸借対照表	行政IT計算書	物功・加計算書	正味財産増減表
普通会計四表		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○		
連結会計四表		○	○	○	○	○				○				○			
連結の範囲	公営事業会計	5会計				5会計				4会計				6会計			
		公営企業会計1 特別会計4				特別会計5				特別会計4				公営企業会計4 特別会計3			
	財政援助出資団体	11団体				6団体				2団体				作成していない			
(財)武蔵野市開発公社 武蔵野市土地開発公社 (財)武蔵野市福祉公社 (財)武蔵野文化事業団 (財)武蔵野健康開発事業団 (財)武蔵野スポーツ振興事業団 (社)武蔵野市生涯人材センター (福)武蔵野市民社会福祉協議会 武蔵野市国際交流協会 武蔵野市子ども協会 (福)武蔵野				三鷹市土地開発公社 (財)三鷹市芸術文化振興財団 (財)三鷹国際交流協会 (財)三鷹市勤労者福祉サービスセンター (福)三鷹市社会福祉事業団 (株)まちづくり三鷹				小金井市土地開発公社 (財)小金井市体育協会									

※普通会計

総務省が定めた全国統一の手法による統計処理上の会計で、公営事業会計以外のすべての会計。一般会計に公営事業会計以外の特別会計を合せたもの。

※公営事業会計

水道事業などの公営企業会計と、国民健康保険事業会計、老人保健医療事業会計、介護保険事業会計などの特別会計

① 普通会計（平成 18 年度）

（単位：億円）

		武蔵野市	三鷹市	小金井市	西東京市
貸借対照表	資産	2,653	2,197	847	2,046
	負債	394	593	372	639
	うち借入金（市債）	260	454	276	508
	正味財産	2,259	1,604	475	1,407
	正味財産比率	85.1%	73.0%	56.1%	68.8%
行政コスト 計算書	収入	521	508	281	485
	支出	437	478	280	484
	収支差額	84	30	1	1
キャッシュ・ フロー計算書	行政活動に関する収支（サ ビス・資産活動）の現金収支	56	32*	6*	

市民 1 人当たりの金額

（単位：万円）

		武蔵野市	三鷹市	小金井市	西東京市
住民基本台帳人口（平成 19 年 3 月 31 日）		134,123 人	172,940 人	109,721 人	189,395 人
貸借対照表	資産	198	127	77	108
	負債	30	34	34	34
	うち借入金（市債）	19	26	25	27
	正味財産	168	93	43	74
行政コスト 計算書	収入	39	29	26	26
	支出	33	28	26	26
	収支差額	6	2	0	0
キャッシュ・ フロー計算書	行政活動に関する収支（サ ビス・資産活動）の現金収支	4.2	1.9*	0.5*	

※三鷹市及び小金井市のキャッシュ・フロー計算書は、武蔵野市の区分に合わせて再計算しました。

貸借対照表から、武蔵野市は、資産が多く借入金と比較的少ないことがわかります。これは、一般財源で資産形成がなされてきたことによります。

② 連結会計（平成 18 年度）

連結会計の比較は次のとおりです。武蔵野市及び三鷹市、小金井市は、財政援助出資団体・外郭団体まで、西東京市は公営事業会計までの連結になっています。

(単位：億円)

貸借対照表	武蔵野市	三鷹市	小金井市	西東京市
資産	3,302	2,554	904	2,357
負債	692	845	444	846
うち借入金(市債)	496	692	361	716
正味財産	2,610	1,709	460	1,511
正味財産比率	79.0%	66.9%	50.8%	64.1%

連結会計と普通会計を比べると、各市とも資産の増加率に対して負債の増加率が高く、正味財産比率が下がっています。これは、連結会計には水道事業、下水道事業などが含まれ、投資のための借入金が増加するためであると考えられます。

3 近隣市の債務と収入の比率（平成 18 年度）

近隣市の債務と収入の比率は次のとおりです。

(単位：億円)

	武蔵野市	三鷹市	小金井市	西東京市
財政調整基金	62	26	15	38
その他の基金	227	68	34	69
基金計 (A)	289	94	49	107
借入金 (B)	260	454	276	508
純債務(△は資産超過) 注1 (C)=(B)-(A)	△29	360	227	401
収入(一般財源) 注2 (D)	431	392	228	360
借入金(B)÷収入(D) (倍)	0.60	1.16	1.21	1.41
純債務(C)÷収入(D) (倍)	△0.07	0.92	1.00	1.11

(注1) 純債務がマイナスになる場合は、資産超過を意味します。

(注2) 収入(一般財源)は、市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金の合計額です。

市民 1 人当たりの金額

(単位：万円)

	武蔵野市	三鷹市	小金井市	西東京市
基金計 (A)	21	5	4	6
借入金 (B)	19	26	25	27
純債務 (C) ((B)-(A))	△2	21	21	21
収入(一般財源) (D)	32	23	21	19

§ 2 武蔵野市の財務諸表について

I 貸借対照表

平成19年度 武蔵野市貸借対照表
平成20年3月31日現在

(単位：千円)

借方	金額	構成比	貸方	金額	構成比
【資産の部】			【負債の部】		
1 流動資産			1 流動負債		
(1) 歳計現金(形式収支)	2,978,959	1.1%	(1) 市債翌年度償還予定額	2,403,658	0.9%
(2) 財政調整基金	6,223,177	2.3%	① 固定資産形成分	1,752,043	
(3) 市税等未収金	2,027,793	0.8%	② 減税補てん分	651,615	
(4) 貸倒引当金	△ 93,175	0.0%	(2) 市税等未払金	804	0.0%
流動資産合計	11,136,754	4.1%	流動負債合計	2,404,462	0.9%
2 固定資産			2 固定負債		
(1) 土地	162,179,285	60.4%	(1) 市債(翌年度償還予定額を除く)	22,648,741	8.4%
① 道路・橋りょう	72,765,629		① 固定資産形成分	15,701,588	
② 行政財産	78,360,319		② 減税補てん分	6,947,153	
③ 普通財産	11,053,337		(2) 退職給与引当金	12,637,354	4.7%
(2) 建物・構築物	66,440,984	24.7%			
① 道路・橋りょう	18,320,680		固定負債合計	35,286,095	13.1%
② 行政財産	45,767,070		負債合計	37,690,557	14.0%
③ 普通財産	2,353,234				
(3) 備品・車両	520,466	0.2%	【正味財産の部】		
① 備品	199,207		(1) 国・都支出金	28,932,212	10.8%
② 車両	321,259		(2) 分担金・負担金	35,916	0.0%
(4) 事業負担金	3,765,834	1.4%	(3) 積立金	27,956,579	10.4%
(5) 建設仮勘定	110,250	0.0%	(4) 資産形成一般財源	173,884,459	64.8%
固定資産合計	233,016,819	86.8%	正味財産合計	230,809,166	86.0%
3 投資その他			負債・正味財産合計	268,499,723	100.0%
(1) 出資金及び有価証券	2,194,781	0.8%			
① 出資金(出えん金)	2,154,231				
② 有価証券	40,550				
(2) 貸付金	417,967	0.2%			
(3) 基金	21,733,402	8.1%			
投資その他合計	24,346,150	9.1%			
資産合計	268,499,723	100.0%			

【注 記】

1 債務負担行為は以下のとおりです。

(1) 工事請負契約など 9,146,467 千円

(2) 債務保証など 14,578,058 千円

2 固定資産の減価償却累計額は以下のとおりです。

(1) 建物・構築物 46,814,691 千円

(道路・橋りょう 16,898,353千円、行政財産 29,055,448千円、普通財産 860,890千円)

(2) 備品・車両 1,251,274 千円

(備品 850,893千円、車両 400,381千円)

(3) 事業負担金 1,784,979 千円

武蔵野市比較貸借対照表（平成18年度・19年度）

（単位：千円）

借方	平成18年度	平成19年度	増減	貸方	平成18年度	平成19年度	増減
【資産の部】				【負債の部】			
1 流動資産				1 流動負債			
(1) 歳計現金（形式収支）	2,816,617	2,978,959	162,342	(1) 市債翌年度償還予定額	2,367,574	2,403,658	36,084
(2) 財政調整基金	6,204,895	6,223,177	18,282	① 固定資産形成分	1,757,613	1,752,043	△ 5,570
(3) 市税等未収金	1,832,202	2,027,793	195,591	② 減税補てん分	609,961	651,615	41,654
(4) 貸倒引当金	△ 161,820	△ 93,175	68,645	(2) 市税等未払金	97	804	707
流動資産合計	10,691,894	11,136,754	444,860	流動負債合計	2,367,671	2,404,462	36,791
2 固定資産				2 固定負債			
(1) 土地	158,650,359	162,179,285	3,528,926	(1) 市債（翌年度償還予定額を除く）	23,589,999	22,648,741	△ 941,258
① 道路・橋りょう	72,040,023	72,765,629	725,606	① 固定資産形成分	15,991,231	15,701,588	△ 289,643
② 行政財産	75,124,450	78,360,319	3,235,869	② 減税補てん分	7,598,768	6,947,153	△ 651,615
③ 普通財産	11,485,886	11,053,337	△ 432,549	(2) 退職給与引当金	13,473,541	12,637,354	△ 836,187
(2) 建物・構築物	64,692,174	66,440,984	1,748,810	固定負債合計	37,063,540	35,286,095	△ 1,777,445
① 道路・橋りょう	18,542,764	18,320,680	△ 222,084	負債合計	39,431,211	37,690,557	△ 1,740,654
② 行政財産	43,745,118	45,767,070	2,021,952				
③ 普通財産	2,404,292	2,353,234	△ 51,058	【正味財産の部】			
(3) 備品・車両	548,531	520,466	△ 28,065	(1) 国・都支出金	26,713,181	28,932,212	2,219,031
① 備品	190,218	199,207	8,989	(2) 分担金・負担金	36,925	35,916	△ 1,009
② 車両	358,313	321,259	△ 37,054	(3) 積立金	28,898,209	27,956,579	△ 941,630
(4) 事業負担金	3,275,036	3,765,834	490,798	(4) 資産形成一般財源	170,197,819	173,884,459	3,686,640
(5) 建設仮勘定	2,140,450	110,250	△ 2,030,200	正味財産合計	225,846,134	230,809,166	4,963,032
固定資産合計	229,306,550	233,016,819	3,710,269	負債・正味財産合計	265,277,345	268,499,723	3,222,378
3 投資その他							
(1) 出資金及び有価証券	2,194,781	2,194,781	0				
① 出資金（出えん金）	2,154,231	2,154,231	0				
② 有価証券	40,550	40,550	0				
(2) 貸付金	390,806	417,967	27,161				
(3) 基金	22,693,314	21,733,402	△ 959,912				
投資その他合計	25,278,901	24,346,150	△ 932,751				
資産合計	265,277,345	268,499,723	3,222,378				

【注 記】

1 債務負担行為は以下のとおりです。

（単位：千円）

項目	平成18年度	平成19年度	増減
(1) 工事請負契約など	11,383,737	9,146,467	△ 2,237,270
(2) 債務保証など	19,260,185	14,578,058	△ 4,682,127

2 固定資産の減価償却累計額は以下のとおりです。

（単位：千円）

項目	平成18年度	平成19年度	増減
(1) 建物・構築物	44,099,236	46,814,691	2,715,455
①道路・橋りょう	15,841,587	16,898,353	1,056,766
②行政財産	27,467,817	29,055,448	1,587,631
③普通財産	789,832	860,890	71,058
(2) 備品・車両	1,249,857	1,251,274	1,417
①備品	852,755	850,893	△ 1,862
②車両	397,102	400,381	3,279
(3) 事業負担金	1,600,393	1,784,979	184,586

II 行政コスト計算書・正味財産増減表

平成19年度 武蔵野市行政コスト計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：千円)

項目名		金額	構成比	
【収入の部】	1 現金による収入	市税	36,552,668	73.4%
		国庫支出金	3,526,758	7.1%
		都支出金	3,039,791	6.1%
		使用料・手数料	1,731,930	3.5%
		分担金・負担金・寄附金	172,884	0.3%
		地方消費税交付金	1,794,372	3.6%
		地方特例交付金	323,250	0.6%
		その他*	2,124,187	4.3%
	現金による収入計		49,265,840	98.9%
	2 その他の収入	国・都支出金取崩額	326,917	0.7%
分担金・負担金・寄附金取崩額		2,481	0.0%	
市税等未収金減少額		195,591	0.4%	
市税等未払金増加額		△ 707	0.0%	
その他の収入計		524,282	1.1%	
収入合計		49,790,122	100.0%	
【支出の部】	1 現金による支出	人件費	11,521,262	23.1%
		物件費	11,967,630	24.0%
		維持補修費	647,328	1.3%
		扶助費	7,073,060	14.2%
		補助費等	5,314,720	10.7%
		公債費（利子分）	505,238	1.0%
		繰出金	3,990,179	8.0%
		災害復旧事業費	0	0.0%
	普通建設事業に伴う経費	1,666,896	3.3%	
	現金による支出計		42,686,313	85.7%
2 その他の支出	貸倒引当金繰入額	△ 68,645	-0.1%	
	減価償却費	2,962,933	6.0%	
	① 道路・橋りょう	1,056,766		
	② 建物・構築物	1,659,476		
	③ 備品	18,295		
	④ 車両	43,810		
	⑤ 事業負担金	184,586		
有形固定資産除却損	14,110	0.0%		
退職給与引当金繰入額	△ 836,187	-1.7%		
出資金回収	0	0.0%		
その他支出計		2,072,211	4.2%	
支出合計		44,758,524	89.9%	
当期収支差額		5,031,598	10.1%	

*その他には、地方譲与税、利子割交付金、財産収入、諸収入などが含まれています。

正味財産増減表（18年度・19年度）

(単位：千円)

項目名	平成18年度(A)	平成19年度(B)	(B) - (A)
期首正味財産残高	216,325,088	225,846,134	9,521,046
当期収支差額	8,347,878	5,031,598	△ 3,316,280
資産形成に関する収支	1,173,168	△ 68,566	△ 1,241,734
国・都支出金・使用料・負担金等	1,443,838	2,547,420	1,103,582
財産収入・諸収入・その他	42,791	△ 2,286,588	△ 2,329,379
国・都支出金・負担金等取崩額	△ 313,461	△ 329,398	△ 15,937
正味財産増加額	9,521,046	4,963,032	△ 4,558,014
期末正味財産残高	225,846,134	230,809,166	4,963,032

武蔵野市比較行政コスト計算書（平成18年度・19年度）

（単位：千円）

項目名	平成18年度	平成19年度	増減
【 収入の部 】			
1 現金による収入			
市税	38,171,036	36,552,668	△ 1,618,368
国庫支出金	3,381,840	3,526,758	144,918
都支出金	2,832,068	3,039,791	207,723
使用料・手数料	1,764,412	1,731,930	△ 32,482
分担金・負担金・寄附金	165,560	172,884	7,324
地方消費税交付金	1,825,400	1,794,372	△ 31,028
地方特例交付金	1,465,145	323,250	△ 1,141,895
その他*	2,283,848	2,124,187	△ 159,661
現金による収入 計	51,889,309	49,265,840	△ 2,623,469
2 その他の収入			
国・都支出金取崩額	310,980	326,917	15,937
分担金・負担金・寄附金取崩額	2,481	2,481	0
市税等未収金減少額	△ 144,253	195,591	339,844
市税等未払金増加額	147	△ 707	△ 854
その他の収入 計	169,355	524,282	354,927
収入 合計	52,058,664	49,790,122	△ 2,268,542
【 支出の部 】			
1 現金による支出			
人件費	10,977,852	11,521,262	543,410
物件費	11,445,582	11,967,630	522,048
維持補修費	591,554	647,328	55,774
扶助費	6,702,646	7,073,060	370,414
補助費等	5,216,605	5,314,720	98,115
公債費（利子分）	548,884	505,238	△ 43,646
繰出金	4,120,877	3,990,179	△ 130,698
災害復旧事業費	0	0	0
普通建設事業に伴う経費	1,463,356	1,666,896	203,540
現金による支出 計	41,067,356	42,686,313	1,618,957
2 その他の支出			
貸倒引当金繰入額	△ 52,320	△ 68,645	△ 16,325
減価償却費	2,935,089	2,962,933	27,844
① 道路・橋りょう	1,034,679	1,056,766	22,087
② 建物・構築物	1,648,397	1,659,476	11,079
③ 備品	52,027	18,295	△ 33,732
④ 車両	46,448	43,810	△ 2,638
⑤ 事業負担金	153,538	184,586	31,048
有形固定資産除却損	9,616	14,110	4,494
退職給与引当金繰入額	△ 248,955	△ 836,187	△ 587,232
出資金回収	0	0	0
その他支出 計	2,643,430	2,072,211	△ 571,219
支出 合計	43,710,786	44,758,524	1,047,738
当期収支差額	8,347,878	5,031,598	△ 3,316,280

*その他には、地方譲与税、利子割交付金、財産収入、諸収入などが含まれています。

武蔵野市比較正味財産増減表（平成18年度・19年度）

（単位：千円）

項目名	平成18年度	平成19年度	増減
期首正味財産残高	216,325,088	225,846,134	9,521,046
当期正味財産増加額	9,521,046	4,963,032	△ 4,558,014
当期収支差額	8,347,878	5,031,598	△ 3,316,280
資産形成に関する収支	1,173,168	△ 68,566	△ 1,241,734
期末正味財産残高	225,846,134	230,809,166	4,963,032

Ⅲ キャッシュ・フロー計算書

平成19年度 武蔵野市キャッシュ・フロー計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：千円)

項目名		金額
【行政サービスに関する収支】	市税	36,552,668
	国庫支出金	3,526,758
	都支出金	3,039,791
	使用料・手数料	1,731,930
	分担金・負担金・寄附金	172,884
	地方消費税交付金	1,794,372
	地方特例交付金	323,250
	その他*	2,124,187
	収入計	49,265,840
	人件費	11,521,262
	物件費	11,967,630
	維持補修費	647,328
	扶助費	7,073,060
	補助費等	5,314,720
	公債費（利子分）	505,238
繰出金	3,990,179	
災害復旧事業費	0	
普通建設事業に伴う経費	1,666,896	
支出計	42,686,313	
行政サービスに関する収支差額		6,579,527
【資産形成に関する収支】	国庫支出金	1,967,676
	都支出金	578,272
	使用料・手数料	0
	分担金・負担金・寄附金	1,472
	財産収入	108,252
	諸収入	28,084
	収入計	2,683,756
	普通建設事業費	9,110,236
	出資金及び有価証券	0
	繰出金	0
支出計	9,110,236	
資産形成に関する収支差額		△ 6,426,480
【財務活動に関する収支】	市債（減税補てん分）	0
	市債（固定資産形成分等）	1,462,400
	基金からの繰入金	3,663,229
	貸付金元金回収額	25,299
	収入計	5,150,928
	公債費（元金分）	2,367,574
	貸付金	52,460
	積立金	2,721,599
支出計	5,141,633	
財務活動に関する収支差額		9,295
収支差額合計		162,342
前年度繰越金		2,816,617
当年度歳計現金（形式収支）		2,978,959

*その他には、地方譲与税、利子割交付金、財産収入、諸収入などが含まれています。

武蔵野市比較キャッシュ・フロー計算書（平成18年度・19年度）

（単位：千円）

項目名	平成18年度	平成19年度	増減
【行政サービスに関する収支】			
市税	38,171,036	36,552,668	△ 1,618,368
国庫支出金	3,381,840	3,526,758	144,918
都支出金	2,832,068	3,039,791	207,723
使用料・手数料	1,764,412	1,731,930	△ 32,482
分担金・負担金・寄附金	165,560	172,884	7,324
地方消費税交付金	1,825,400	1,794,372	△ 31,028
地方特例交付金	1,465,145	323,250	△ 1,141,895
その他*	2,283,848	2,124,187	△ 159,661
収入計	51,889,309	49,265,840	△ 2,623,469
人件費	10,977,852	11,521,262	543,410
物件費	11,445,582	11,967,630	522,048
維持補修費	591,554	647,328	55,774
扶助費	6,702,646	7,073,060	370,414
補助費等	5,216,605	5,314,720	98,115
公債費（利子分）	548,884	505,238	△ 43,646
繰出金	4,120,877	3,990,179	△ 130,698
災害復旧事業費	0	0	0
普通建設事業に伴う経費	1,463,356	1,666,896	203,540
支出計	41,067,356	42,686,313	1,618,957
行政サービスに関する収支差額	10,821,953	6,579,527	△ 4,242,426
【資産形成に関する収支】			
国庫支出金	834,543	1,967,676	1,133,133
都支出金	609,280	578,272	△ 31,008
使用料・手数料	0	0	0
分担金・負担金・寄附金	15	1,472	1,457
財産収入	66,197	108,252	42,055
諸収入	0	28,084	28,084
収入計	1,510,035	2,683,756	1,173,721
普通建設事業費	6,688,557	9,110,236	2,421,679
出資金及び有価証券	0	0	0
繰出金	0	0	0
支出計	6,688,557	9,110,236	2,421,679
資産形成に関する収支差額	△ 5,178,522	△ 6,426,480	△ 1,247,958
【財務活動に関する収支】			
市債（減税補てん分）	527,700	0	△ 527,700
市債（固定資産形成成分等）	451,900	1,462,400	1,010,500
基金からの繰入金	1,654,097	3,663,229	2,009,132
貸付金元金回収額	63,683	25,299	△ 38,384
収入計	2,697,380	5,150,928	2,453,548
公債費（元金分）	2,332,117	2,367,574	35,457
貸付金	40,292	52,460	12,168
積立金	6,029,233	2,721,599	△ 3,307,634
支出計	8,401,642	5,141,633	△ 3,260,009
財務活動に関する収支差額	△ 5,704,262	9,295	5,713,557
収支差額合計	△ 60,831	162,342	223,173
前年度繰越金	2,877,448	2,816,617	△ 60,831
当年度歳計現金（形式収支）	2,816,617	2,978,959	162,342

*その他には、地方譲与税、利子割交付金、財産収入、諸収入などが含まれています。

§ 3 財務諸表の説明と分析について

I 貸借対照表

1 作成方法について

(1) 基本的な考え方について

財務諸表全体については、決算統計の積み上げ方式を基本としつつ、固定資産については、公有財産台帳及び備品台帳からその残高を確認し、個別資産の取得価額を把握し積み上げる方法で作成しました。

(2) 資産・負債・正味財産の考え方

資産とは、将来にわたり公共サービスを提供することができる能力及び将来の経済的便益を表しています。これは、次世代が受けることのできるサービスといえます。

負債とは、過去の取引から生じた現在の債務であり、これを履行するために経済資源の流出をもたらすものです。これは、いわば次世代が負担する借金などといえます。

正味財産とは、資産と負債の差額ですが、資産形成における納税者からの財源を表しています。これは、現在までの世代がすでに負担し、次の世代に引き継ぐ正味価値といえます。世代間の受益と負担の関係や、財政運営の状況を判断するうえで参考になる数値といえます。

(3) 資産の評価基準

資産の評価方法は、原則として取得原価によっています。貸借対照表においては、資産形成とその財源の関係を明らかにするという目的から、資産の評価は取得原価を原則としています。

(4) 収入・支出などの認識方法について

市の会計年度は、4月1日に始まり3月31日をもって終了しますが、その後、出納整理期間（4月1日から5月31日）があり、かなりの現金収支があるため、出納閉鎖日（5月31日）における資産・負債・正味財産を3月末日のものとして計上しました。

(5) 作成対象について

体系的な決算統計が作成されている一般会計（介護サービス事業を含む）を対象としました。

(6) 固定資産の計上方法について

①道路・橋りょう

公有財産台帳には道路・橋りょうについて、法令上記載が要求されておらず、取得価額などに関する情報がありませんので、決算統計の普通建設事業費を集計し固定資産として計上しました。ただし、決算統計が現在の形式となったのが、昭和45年度ですので、昭和44年度以前のものはありません。

②行政財産・普通財産

公有財産台帳に掲載されている取得価額を、行政財産・普通財産に分けて集計しました。また、建物・構築物について大規模修繕を行った場合は、各年度・施設ごとに3,000万円以上を要したものを資本的な支出とみなし、資産として計上しました。

③事業負担金について

東京都や他の自治体が事業主体として行う道路や立体交差事業に対して、市が負担金などを支出する場合、市に法的所有権はありません。しかし、市民サービスを継続的に提供できるといった経済的な効果に着目して、一時に費用として計上するのではなく、固定資産として計上しました。

(7) 固定資産の減価償却について

項目	作成資料	減価償却方法	耐用年数	残存価額
道路・橋りょう	決算統計	定額法	30年	なし
建物・構築物	公有財産台帳	定額法	40年	10%
備品・車両	備品台帳	定額法	10年	10%
事業負担金	道路・橋りょう	決算統計	21年	なし
	建物・構築物	決算統計	28年	なし

①道路・橋りょう

耐用年数について、過去の事業執行における平均的な数値（年間の平均道路改良率約3.3%）を参考に、30年としました。また、残存価額は「なし」としました。理由は、(ア) 30年ですべての道路に対して改良工事がなされる。(イ) 決算統計では、個々の路線別の取得価額が把握できないので、備忘記録を残す必要性はない、と考えたためです。

②建物・構築物及び備品・車両

法人税法上の耐用年数を参考に、利用可能期間を見積もりました。

③事業負担金

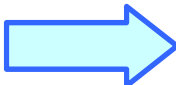
耐用年数について、市に所有権がないことから、通常の7割の期間で早期に償却することとし、残存価額も「なし」としました。

2 財政状況について

(1) 財政状況の推移

平成19年度の資産合計は2,685億円（前年度比32億円増加）、負債合計は377億円（前年度比17億円減少）、正味財産合計は2,308億円（前年度比49億円増加）となっています。

市民1人当たりになると資産200万円（前年度比2万円増加）、負債28万円（前年度比2万円減少）、正味財産172万円（前年度比4万円増加）です。

武蔵野市		市民1人当たりで 見ると 	市民1人当たり	
資産 2,685 億円	負債 377 億円 正味財産 2,308 億円		資産 200 万円	負債 28 万円 正味財産 172 万円

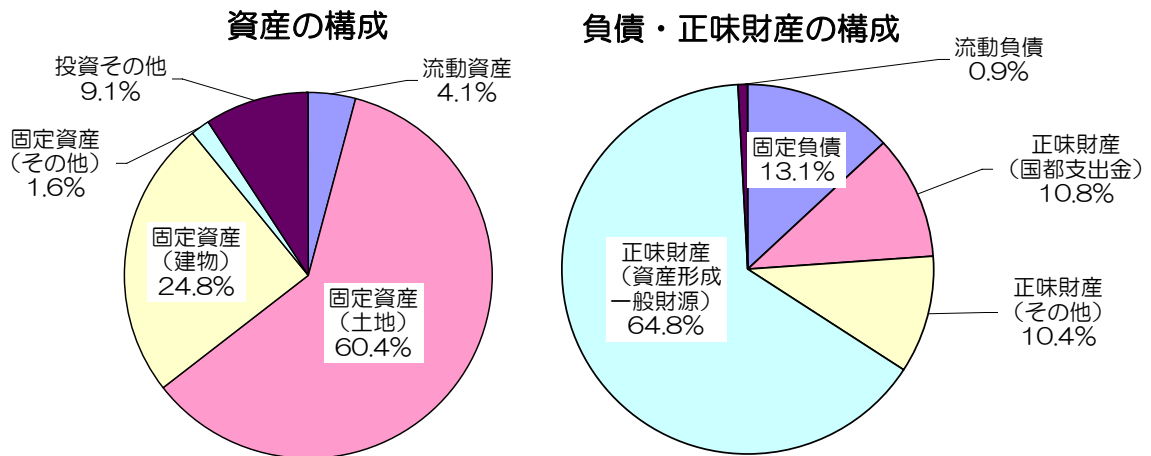
財政状況の推移

年 度	人 口 (各年度末)	資 産 (A) 百万円	負 債 (B) 百万円	正味財産 (C) 百万円	正味財産比率 (C) / (A) %	市民1人当たり (万円)		
						資産	負債	正味財産
平成15年度	131,149	247,646	41,682	205,964	83.2	189	32	157
平成16年度	132,515	251,329	41,285	210,044	83.6	190	31	159
平成17年度	133,990	257,358	41,033	216,325	84.1	192	31	161
平成18年度	134,123	265,277	39,431	225,846	85.1	198	30	168
平成19年度	134,290	268,500	37,691	230,809	86.0	200	28	172

(2) 資産・負債・正味財産の内訳

次ページの図のように、資産のうち、固定資産が86.8%を占めています。また、資産の60.4%が土地となっています。これは、平均地価の高い武蔵野市の特徴ともいえます。

負債及び正味財産では、負債が全体の14.0%、正味財産が86.0%になっています。正味財産の比率が高いということは、資産形成について、現在までの世代ですでに負担し、将来の世代へ引き継ぐものが多いことを意味します。



(3) 資産形成と財源の関係

下の表は、行政活動により、どのような財源で、どれだけの公有財産が形成されてきたかを表しています。固定資産のうち、80.1%は一般財源等で形成されており、12.4%は国・都支出金で、残りの7.5%が市債で調達されていることがわかります。これは、現行の交付税制度になった昭和29年度以来武蔵野市は普通交付税の不交付団体であり、資産形成にあたっては、主に自主財源である市税などにより手当てされてきたことを意味します。

また、建物・構築物の耐用年数と債務の償還期間について見ていくと、耐用年数が40年（道路・橋りょうは30年）であることに対して、この建設のために借り入れた市債の償還年数は、通常最長でも25年であり、市債の償還が終了してから耐用年数までの5年から15年の期間は、次の世代が市債の返済の負担なしで施設を利用することができるといえます。

資産形成とその財源

(単位：億円)

固定資産	平成18年度	平成19年度	構成比		財源	平成18年度	平成19年度	構成比	
			平成18年度	平成19年度				平成18年度	平成19年度
土地	1,587	1,622	69.2%	69.6%	国・都支出金	267	289	11.7%	12.4%
建物・構築物	647	664	28.2%	28.5%	市債*	177	175	7.7%	7.5%
備品・車両	5	5	0.2%	0.2%	一般財源等	1,849	1,866	80.6%	80.1%
事業負担金	33	38	1.5%	1.6%					
建設仮勘定	21	1	0.9%	0.1%					
計	2,293	2,330	100.0%	100.0%	計	2,293	2,330	100.0%	100.0%

*市債には、減税補てん分は含んでいません。

(4) 資産形成と歳入決算額との関係

貸借対照表の資産の額と歳入決算額とを対比させることによって、資産の形成に何年分の歳入が投入されたかを計ることができます。下の表によると武蔵野市では資産の形成におよそ4～5年分の歳入が充てられていることがわかります。

歳入決算額と資産との関係

(単位：千円)

年 度	歳入決算額 (A)	資産合計 (B)	(B) / (A)
平成15年度	58,595,400	247,646,005	4.2
平成16年度	59,482,409	251,329,388	4.2
平成17年度	58,042,399	257,357,918	4.4
平成18年度	58,974,172	265,277,345	4.5
平成19年度	59,917,141	268,499,723	4.5

(5) 長期計画の分野別の資産形成 (建物・構築物)

長期計画に基づく5つの主要な分野について、それぞれの資産形成の金額を見てみます。固定資産の取得価額を見ると、下の表のとおり最も多いのは「子ども・教育」です。この分野には、学校、保育園などが含まれています。次に、道路・橋りょうなどが含まれる「都市基盤」、その次が、クリーンセンター、コミュニティセンター、体育施設などが含まれる「緑・環境・市民生活」です。「健康・福祉」には保健センター、高齢者施設などが、「行・財政」には庁舎、市政センターなどが含まれています。

長期計画分野別資産形成 (平成19年度)

(単位：千円)

分 野 別	取得価額	減価償却累計額	差引額	償却率
行政財産 (道路・橋りょう含む)	110,041,551	45,953,801	64,087,750	41.8%
1 健康・福祉	6,200,143	2,795,719	3,404,424	45.1%
2 子ども・教育	36,426,066	14,123,725	22,302,341	38.8%
3 緑・環境・市民生活	21,723,461	8,864,714	12,858,747	40.8%
4 都市基盤	36,264,126	17,234,414	19,029,712	47.5%
5 行・財政	9,427,756	2,935,229	6,492,527	31.1%
普通財産	3,214,124	860,890	2,353,234	26.8%
合 計	113,255,675	46,814,691	66,440,983	41.3%

(6) 市有施設の更新コストと財源について

①道路・橋りょうなどの維持コストについて

道路・橋りょうについては、道路の新設改良費などに約 8 億円、維持補修費を約 3 億円支出しています。単純比較はできませんが減価償却費約 11 億円と比べるとほぼ同額支出されています。道路排水のカメラ調査や路面下空洞調査等を通じて適切な維持補修管理に努めます。

②市有施設（行政財産）の更新コストについて

現在の市有施設を使用することにより毎年約 16 億円分の価値が減少しています。その価値の減少額の総額を表すものが減価償却累計額であり、平成 19 年度末で 291 億円になります（【資産の部】2 固定資産 固定資産明細表参照）。しかし、物価上昇率を考えると、減価償却累計額そのものは市有施設の更新コストの目安にはならず、時価ベース（再取得価額）での施設更新計画と資金計画が必要となります。

市有施設については、「公共施設保全計画」（平成 16 年度策定）に基づいて維持修繕工事を実施し、現在策定中の「学校改築計画」、「中期資産管理計画」などに基づいて計画的な維持管理を行います。また、市では施設の更新・新設や土地取得のための自己資金として、公共施設整備基金と公園緑化基金を積み立てているほか、平成 13 年度には学校施設整備基金、吉祥寺まちづくり基金、平成 15 年度には武蔵境市民まちづくり基金を設置し、平成 19 年度末の積立て残高はあわせて 186 億円となっています。市としては、行政財産である施設の更新や新設にあたっては、すべてを将来の世代に負担させるのではなく、できる限り世代間の負担の公平性を保てるように考えています。そのため適宜、公共施設整備基金や学校施設整備基金などの積立てや取崩し、市債の借入れを行い、バランスの取れた資金調達をしていく方針です。

(7) 市債の残高と返済能力

平成 19 年度を見ると、市の借金にあたる市債の未償還残高が 251 億円となっています。市債は市有施設などの建設にあたり資金の借入れを行い、その後 5 年から 25 年かけて返済をしていくことにより、建設時点の市民だけでなくその施設を利用する次の世代の市民にも負担を求めるといった政策的な観点により、世代間の公平を保つための方法として位置づけられています。

収入のうち一般財源と市債残高の過去 5 年間の推移は下表のとおりです。

収入（一般財源）と市債残高

（単位：千円）

年 度	収入（一般財源）(A)	市債残高 (B)	(B) / (A)
平成 15 年度	41,445,242	28,234,327	0.68
平成 16 年度	39,309,134	28,374,377	0.72
平成 17 年度	41,370,050	27,310,090	0.66
平成 18 年度	43,118,723	25,957,573	0.60
平成 19 年度	39,914,877	25,052,399	0.63

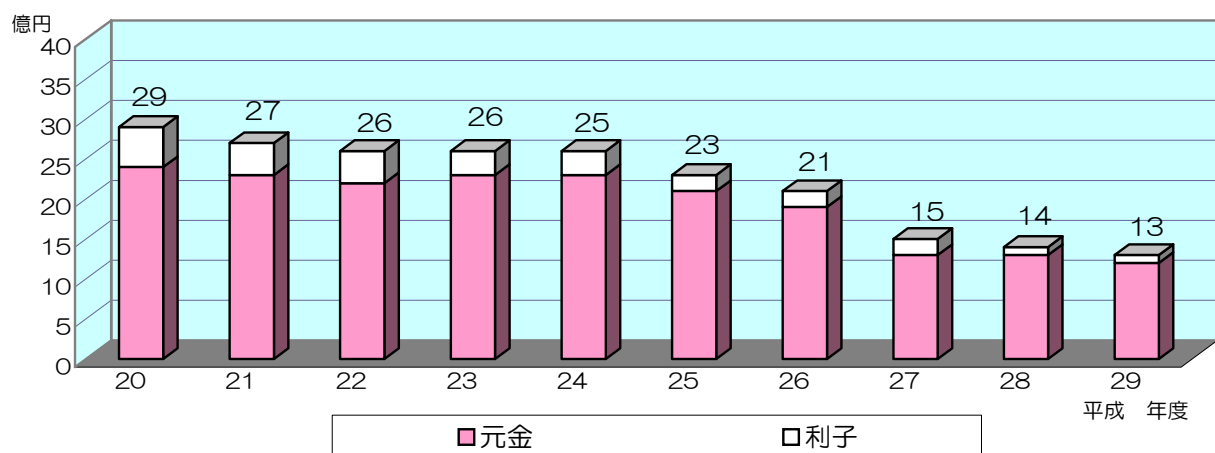
※収入（一般財源）は、市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税及び交通安全対策特別交付金の合計額としています。

前ページの表を見ると、平成 19 年度の市債残高 251 億円は収入のうち一般財源 399 億円の 0.63 年分相当となるため、市債残高は低い水準にあるといえます。一方、キャッシュフローでみると、平成 19 年度の市債の償還額は元金が 24 億円、利子が 5 億円、合計で 29 億円でした。これは、一般財源 399 億円の 7.3%になります。

今後 10 年間の市債償還予定額は、下の図のとおりです。

平成 20 年度以降の償還額は 13~29 億円ですので、行政の簡素化・効率化を図りながら、財政的には十分返済していくことができる金額です。

市債年度別元利償還予定額
(新規の借入れはないものとして計算してあります)

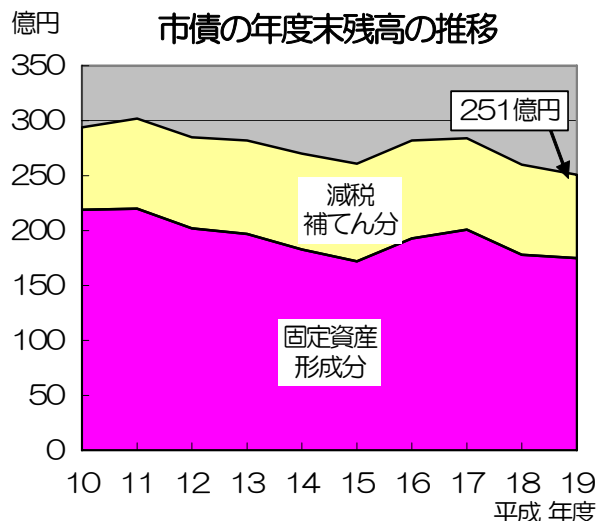
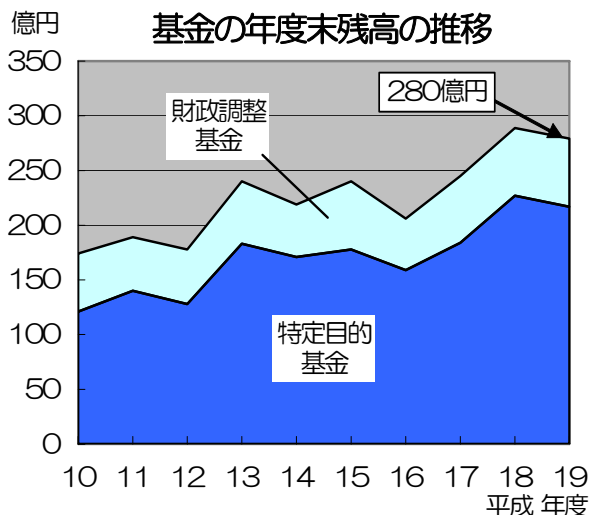


(8) 基金と市債の状況

市の貯金である基金の平成 19 年度末の残高は、財政調整基金が 62 億円、公共施設整備基金、学校施設整備基金などの特定目的基金が 217 億円、合計で 280 億円となっています。一方、市の借金である市債の残高は、固定資産形成分が 175 億円、減税補てん分が 76 億円、合計 251 億円となっています。市債残高から基金残高を差し引いた純債務は、平成 17 年度の 28 億円から平成 18 年度に△29 億円になり資産超過に転じました。平成 19 年度も△29 億円で資産超過を維持しており、良好な財政状況にあるといえます。

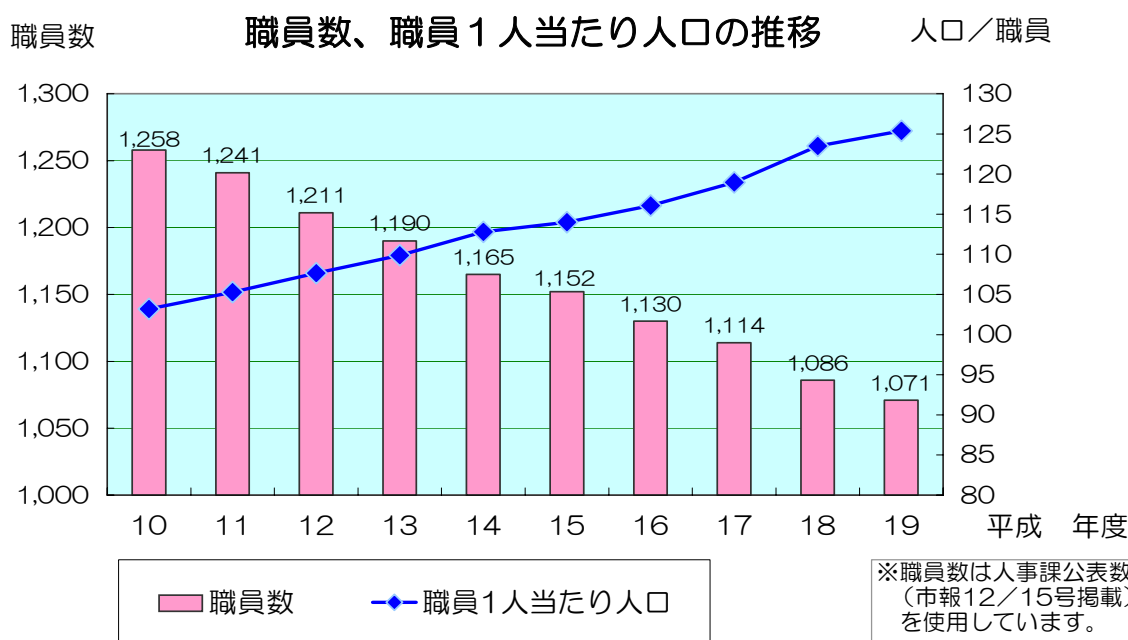
純債務 (△資産超過)		市債残高		基金残高
△29億円	=	251億円	-	280億円

基金は、行政施策の実行のために積み立てているもので、その目的に応じて取り崩し、事業の財源になります。一方、市債は世代間の公平性という観点から将来の税金により償還すべきもので、原則として基金を直接的に取り崩して償還に充てることはありません。今後の市税収入の推移、市債償還額の推移などを見ながら、世代間の公平性を保ちつつ、資産の形成及び市債の発行を行っていくことが重要です。

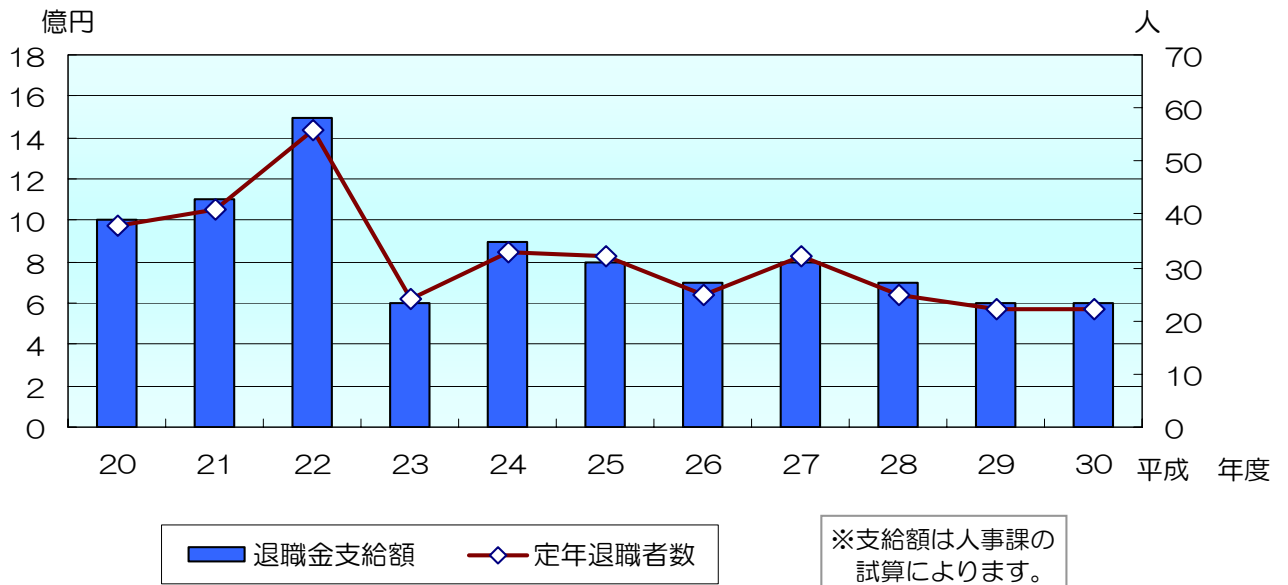


(9) 退職金支給額について

市の職員数は過去10年間で、1,258人から1,071人へと187人減少しています。この減少は、平成8年度からの3次にわたる職員定数適正化計画の着実な推進によるものです。また、武蔵野市行財政集中改革プランに基づき平成22年度までに職員数を1,014人にする 것을目標としています。過去10年間の職員数と、職員1人当たり人口の推移は、下図のとおりです。



退職金支給予定額の推移



上のグラフを見ると、平成 20 年度から 22 年度にかけて、団塊世代の定年退職に伴い退職者数はピークを迎えます。現在の退職金制度が継続されることを前提とすると、この 3 年間で合計 36 億円程度の退職金の支払いが必要になると試算しています。一年度の平均的な退職金の支払額は 8 億円程度ですので、この 3 年間の負担増はおよそ 12 億円になります。

【資産の部】

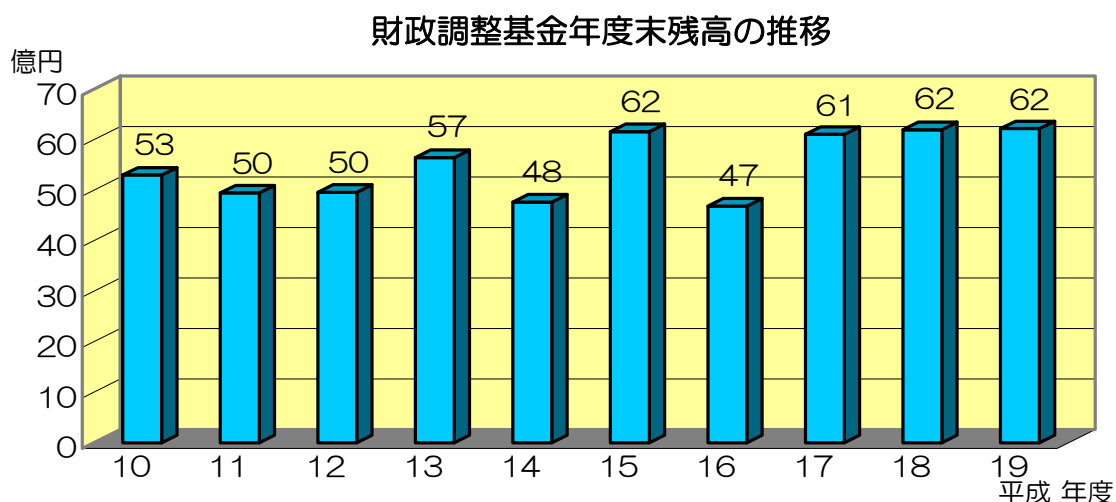
1 流動資産

(1) 歳計現金

歳計現金は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額であり、決算額は出納閉鎖時点のものです（形式収支という）。平成 19 年度は 30 億円で、前年度より 2 億円増額となりました。

(2) 財政調整基金

財政調整基金とは、各年度の収支差額の一部を積み立て、年度間の財源調整を図るためのものです。経済変動などによる財源不足や、緊急に実施することが必要となった事業などの財源に充てられます。平成 19 年度末の残高は 62 億円で、行政サービスに関する収入の約 12.5%となっています。



(3) 市税等未収金

年度末における市税、分担金・負担金、使用料・手数料、諸収入の未収金額です。平成 19 年度の市税等未収金は 20 億 3,000 万円で、前年度より 2 億円増加しました。

(4) 貸倒引当金

市税等未収金の一部が回収不能になることに備え、引当金として計上しました。計算方法は以下のとおりです。

貸倒引当金＝年度末市税等未収金×不納欠損率

不納欠損率＝年度末不納欠損額／（年度末市税等未収金＋年度末不納欠損額）

平成 19 年度の貸倒引当金は 9,000 万円で、前年度に比べて 7,000 万円減少しています。市

税についての徴収率と不納欠損額は、下の表のとおりです。今後も、財源の確保のために、市税の徴収率向上にさらに努めていきます。

市税の徴収率と不納欠損額

年度	市税徴収率	市税不納欠損額（千円）
平成15年度	94.0%	205,361
平成16年度	94.1%	128,865
平成17年度	94.7%	221,569
平成18年度	95.4%	172,963
平成19年度	94.9%	88,961

2 固定資産

固定資産とは、土地、道路、橋りょう、建物、備品、車両など、通常1年を超えて長期に所有する資産です。平成19年度の増減明細は下の表のとおりです。

固定資産明細表

(単位：百万円)

資産の種類	前期末 取得価額	当期 増加額	当期 減少額	当期末 取得価額	当期末 減価償却 累計額	当期 償却額	差引 当期末残高
(1) 土地	158,650	4,077	548	162,179	0	0	162,179
① 道路・橋りょう	72,040	726	0	72,766	0	0	72,766
② 行政財産	75,124	3,236	0	78,360	0	0	78,360
③ 普通財産	11,486	116	548	11,053	0	0	11,053
(2) 建物・構築物	108,792	4,466	2	113,255	46,814	2,716	66,440
① 道路・橋りょう	34,385	835	0	35,219	16,898	1,057	18,321
② 行政財産	71,213	3,611	2	74,822	29,055	1,588	45,766
③ 普通財産	3,194	20	0	3,214	861	71	2,353
(3) 備品・車両	1,799	49	76	1,772	1,251	62	521
① 備品	1,043	31	24	1,050	851	18	199
② 車両	756	18	52	722	400	44	322
(4) 事業負担金	4,875	675	0	5,551	1,785	185	3,766
(5) 建設仮勘定	2,141	110	2,141	110	0	0	110
固定資産計	276,257	9,377	2,767	282,867	49,850	2,963	233,017

(1) 土地 及び (2) 建物・構築物

①道路・橋りょう

市民生活の基盤となるインフラ資産として、市が所有する道路・橋りょうなどです。平成 19 年度の主な増加は、道路用地の新規取得（7 億円）と、道路の新設改良（8 億円）のための資本的支出です。

②行政財産

市民サービスを行うために直接使用される市役所、学校、文化施設、体育施設、公園、福祉施設などです。平成 19 年度の土地の増加（32 億円）は、農水省跡地利用施設などの保有土地の増加によるものです。建物の増加（36 億円）は、武蔵野市防災安全センター等西棟増築工事（27 億円）や、市営北町第 1 住宅（2 億円）、市民文化会館・小学校等施設改修工事（4 億円）等による資本的支出です。

③普通財産

直接に行政目的のために使用されない、土地や建物です。具体的には、職員宿舎、諸用地、代替用地など、また、都立施設などに貸している市所有の土地も含まれます。平成 19 年度の土地の増加（1 億円）は代替用地のため、減少（5 億円）は、行政財産への用途変更などによるものです。

(3) 備品・車両

市が所有する取得価額 100 万円以上の備品、車両です。備品の主なものは、防災機器、学校給食の厨房機器、公害測定機器、医療機器などです。また、車両の主なものは、ごみ収集車、給食運搬車などの市の業務で使用する自動車です。平成 19 年度は電動式移動棚などの備品（3,000 万円）、給食輸送車 1 台やレモンキャブ 2 台など計 5 台の車両（2,000 万円）を購入しました。

(4) 事業負担金

東京都や他の自治体が事業主体として行う道路や連続立体交差などの建設事業に対して、市が支出した金額の累計額です。平成 19 年度の増加（7 億円）は、東京都が事業主体となっている鉄道連続立体交差事業の武蔵野市分の負担金（5 億円）や都営緑町住宅建替えに伴い併設される障害者通所施設・子育て支援施設の建設費負担金（4,000 万円）、都道 123 号線拡幅整備事業負担金（1 億 5,000 万円）です。

(5) 建設仮勘定

平成 19 年度に経費を支出した建設事業のうち、施設の引渡しが未了または建設が複数年に渡るため公有財産台帳に登載されていないものを、建設仮勘定として計上しました。内容は、農水省跡地利用施設建設に伴う実施設計業務委託（1 億円）です。減少（21 億円）は武蔵野市防災安全センター等西棟増築工事が完了したことによるものです。

3 投資その他

(1) 出資金及び有価証券

出資金及び有価証券は、取得価額で評価しており、内訳は下の表のとおりです。これらのうち、連結の対象としたのは7つの財政援助出資団体です。（§5 連結財務諸表の説明と分析について を参照）

出資金（出えん金）一覧

（単位：千円）

項 目		金 額
財政 援助 出資 団体	（財）武蔵野市開発公社	10,000
	武蔵野市土地開発公社	5,000
	（財）武蔵野市福祉公社	415,995
	（財）武蔵野文化事業団	800,000
	（財）武蔵野健康開発事業団	400,000
	（財）武蔵野スポーツ振興事業団	500,000
	（福）武蔵野	5,000
その 他の 団体	（財）東京しごと財団	4,500
	（財）東京都農林水産振興財団	1,150
	（財）暴力団追放運動推進都民センター	5,586
	（財）東京都防災・建築まちづくりセンター	2,000
	（社）東京労働者共同保証協会	3,000
	（有）武蔵野交流センター	2,000
合 計		2,154,231

有価証券一覧

（単位：千円）

項 目	金 額
東京圏駅ビル開発（株）	19,500
（株）エフエムむさしの	10,000
武蔵野三鷹ケーブルテレビ（株）	10,000
大東京信用組合	50
（社）豊科開発公社	1,000
合 計	40,550

なお、出資金及び有価証券の時価評価については、有価証券のうち金額の大きな株式会社の分について、平成19年度の決算書に基づいて時価評価を行いました。

時価評価の計算方法は以下のとおりです。

$$\text{時価} = \text{貸借対照表の純資産} \times \text{武蔵野市の持ち株比率}$$

有価証券の時価評価について（株式会社分）

（単位：千円）

会社名	純資産 A	武蔵野市の 持ち株比率 B	評価額 C = A × B	取得価額 D	評価損益 C - D
東京圏駅ビル開発（株）	17,248,332	7.41%	1,278,101	19,500	1,258,601
（株）エフエムむさしの	124,371	10.00%	12,437	10,000	2,437
武蔵野三鷹ケーブルテレビ（株）	1,495,454	0.33%	4,935	10,000	△ 5,065

（2）貸付金

貸付金は、福祉資金貸付金などで、市民が（財）武蔵野市福祉公社の有償サービスを受けるにあたり、不動産を担保に市が福祉資金を貸し付けているものです。

（3）基金

基金は次ページのとおり 11 種類になります。これらはそれぞれ条例で定められており、各基金の積立て、取崩しは毎年度予算で定めて行っています。基金の運用については、「武蔵野市資金管理方針」に基づき、金融機関の経営状況の把握に努めるなど安全性を確保して、定期性預金や債券により行っています。

①公共施設整備基金は、都市計画施設・福祉施設など長期計画に定める市有施設の整備に必要な資金を積み立てるために設けています。平成 19 年度は、武蔵野市防災安全センター等西棟増築工事、農水省跡地利用施設建設事業に充当するため 26 億 3,000 万円を取り崩し、また今後の支出に備えて 13 億円を積み立てました。

②公園緑化基金は、公園用地の確保、緑の保護・育成、緑化推進事業に必要な資金を積み立てるために設置しています。平成 19 年度は公園用地の購入や公園建設のために 2 億円を取り崩し、また今後の支出に備えて 2 億円を積み立てました。

③鉄道連続立体交差化整備基金は、JR中央線の三鷹－立川駅間約 13 kmの区間を連続立体交差化し、踏切での交通渋滞の解消、鉄道・道路の安全性の向上を図り、地域の一体化を実現し、ひいては沿線のまちづくりに貢献するための基金です。平成 19 年度は工事の進捗にあわせ 4 億 8,000 万円を取り崩しました。

④学校施設整備基金は、学校施設の改築、改修などの施設整備に必要な資金を積み立てるために設置しています。平成 19 年度は小中学校の保全・修繕工事のために 3 億円を取り崩し、また今後の支出に備え 10 億円を積み立てました。

⑤吉祥寺まちづくり基金は、吉祥寺の都市計画道路などのハード事業や、ソフト事業の実施のために必要な資金を積み立てるために設けています。平成19年度は今後の支出に備え2億円を積み立てました。

⑥武蔵境市民まちづくり基金は、武蔵境のまちづくり推進のために、武蔵境の駅舎改築に伴い、それに付随する施設及びその周辺整備に必要な資金として、市民からの寄付を積み立てるために設置しています。

基金明細表

(単位：千円)

基金名	平成18年度	平成19年度	増減
公共施設整備基金	8,351,864	6,979,281	△ 1,372,583
学校施設整備基金	4,763,673	5,478,955	715,282
吉祥寺まちづくり基金	2,005,175	2,206,429	201,254
公園緑化基金	3,937,173	3,950,438	13,265
国際交流基金	201,703	158,353	△ 43,350
市民たすけ合い基金	432,234	425,654	△ 6,580
鉄道連続立体交差化整備基金	2,226,642	1,760,834	△ 465,808
青少年善行表彰基金	20,403	19,050	△ 1,353
高齢者住宅運営基金	524,393	523,628	△ 765
武蔵境市民まちづくり基金	7,054	7,780	726
市民生活総合基金	223,000	223,000	0
合計	22,693,314	21,733,402	△ 959,912

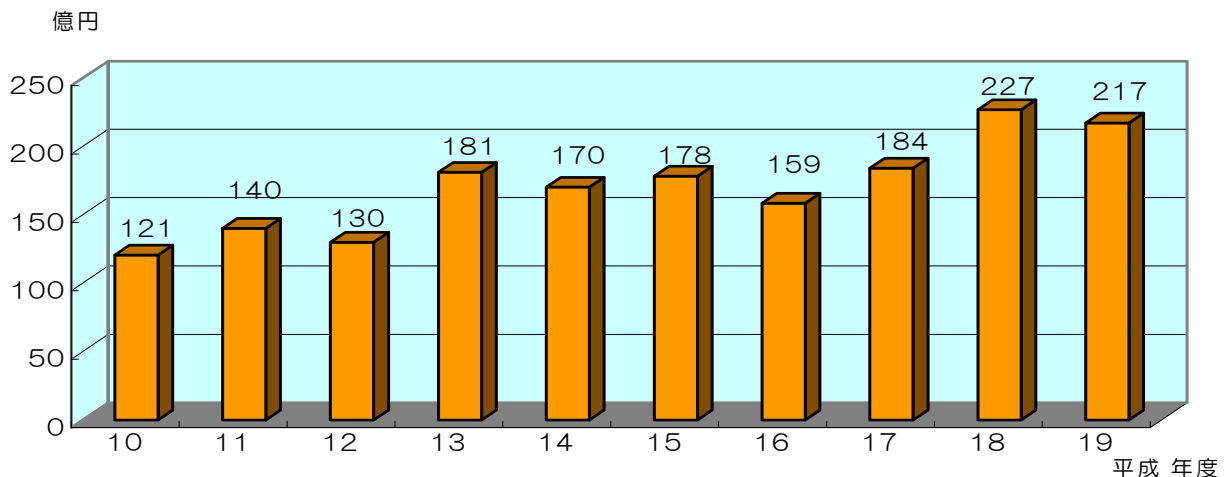
基金の運用状況

運用の種類	平成19年度末残高	構成比(%)
普通預金及び定期預金	15,760,236 千円	72.5
債券	5,973,166 千円	27.5
合計	21,733,402 千円	100.0

基金の年度末残高の推移については、下図のとおりです。

平成 13 年度は、新たに学校施設整備基金や吉祥寺まちづくり基金を創設したため大きく増加しています。また、平成 18 年度は、市民税の増収などにより 59 億円を超える積立てがあったため大きく増加しています。平成 19 年度は、農水省跡地利用施設建設事業や公園等建設事業などのために基金を取り崩したため、残高は 10 億円減額となっています。

基金年度末残高の推移



【負債の部】

1 流動負債

(1) 市債翌年度償還予定額

翌年度（平成 20 年度）に償還する予定の市債の元金相当分です。

平成 19 年度は、減税補てん分が増加しています。これは、以前に借り入れた市債の据置期間が経過し元本の返済が始まったことによるものです。

①固定資産形成分

減税補てん分を除いた市債です。つまり、市債本来の役割である固定資産を形成することを目的に発行した市債の翌年度償還予定額です。

②減税補てん分

平成 6 年度以降の住民税特別減税などの実施に伴う市税の減収分を補てんするために発行することとなった市債です。

(2) 市税等未払金

年度末時点で、納税者への還付が済んでいない市税などです。

2 固定負債

(1) 市債（翌年度償還予定額を除く）

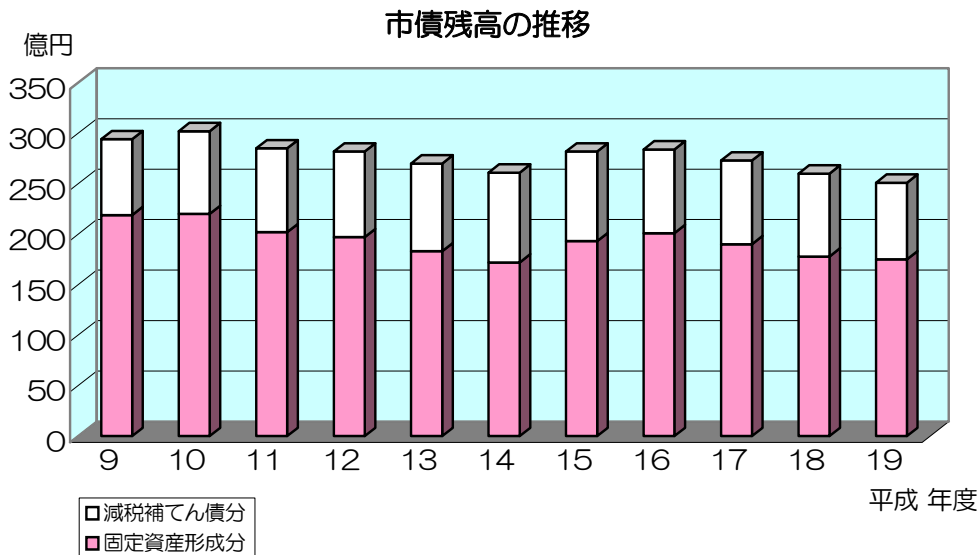
市債のうち、翌年度償還予定額を除いた元金相当分です。

この固定負債と流動負債に計上した市債の合計が平成 19 年度末時点での未償還残高であり、固定資産形成分と減税補てん分とを合わせて 251 億円となり、前年度に比べて 9 億円減少しました。

市債の年度末残高の推移については下の図のとおりです。固定資産形成分については、平成 11 年度以降は大きな施設建設もなく減少を続けていましたが、平成 15 年度は武蔵野三鷹地区保健衛生組合の解散に伴う債務 18 億円の承継、クリーンセンター改修工事や大野田小学校校舎改築があり市債の発行額が増加しました。平成 19 年度は公営住宅建替工事や公園用地の買収などのための市債 15 億円を発行しました。

また、住民税特別減税などによる市税の減収分を補てんするため発行していた減税補てん債については、平成 19 年度末残高は 76 億円となり、市債全体の 30%を占めています。

制度上は、減税補てん債などの償還額については地方交付税で補てんされることになっていますが、普通交付税の不交付団体である武蔵野市には国による財源の補てんは全くありません。厳しい財政運営を強いられています。事務事業の見直しなどにより業務の効率化に努め、負債が過大にならないようにバランスの取れた財政運営に努めていきます。



(単位：億円)

平成 年度	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
固定資産形成分	219	220	202	197	183	172	193	201	190	178	175
減税補てん債分	75	82	83	85	87	89	89	83	83	82	76
市債合計	294	302	285	282	270	261	282	284	273	260	251

(2) 退職給与引当金

将来における市職員に対する退職金の支給に備えるための引当金です。退職給付会計の考え方をもとに、定年による退職金支給見込額のうち「現在までに発生していると認められる額」を現在価値に割り引いた金額を負債として計上しています。

退職給与引当金の計算にあたって、平成15年度までは平均給与月額を基礎にしていましたが、平成16年度より職員個人別に計算する方式に改めました。

計算方法について、「現在までに発生していると認められる額」を適切に算定するため、下記のとおり期間案分率を取り入れています。

平成19年度の退職給与引当金は126億円となり、前年度に比べ職員数28人が減少したことにより8億円減少しました。

【計算方法】

個人ごとの退職給与引当金＝将来の退職金額（定年）×期間案分率×複利現価率

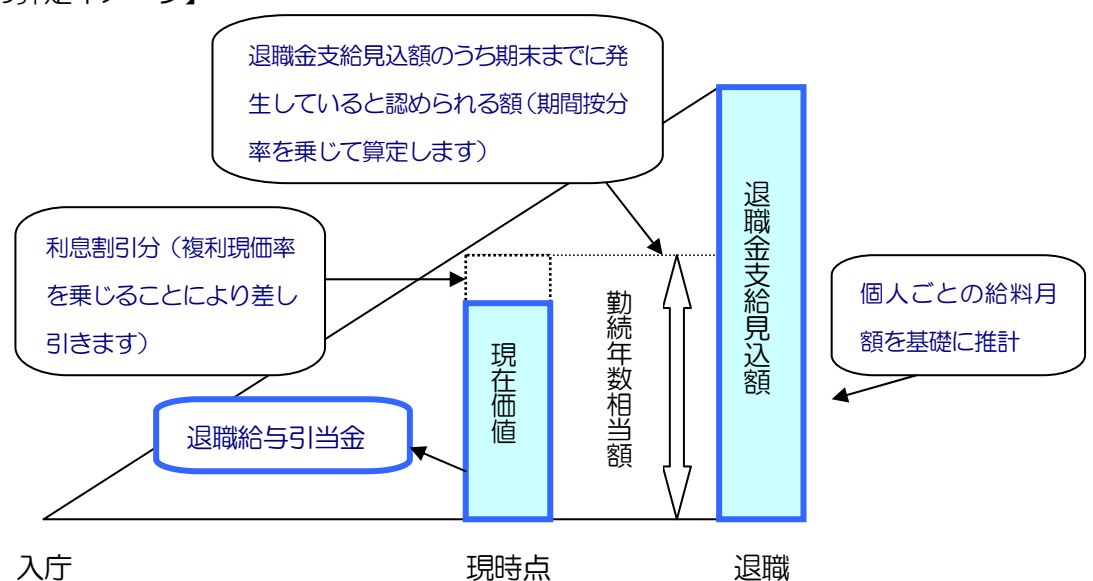
将来の退職金額…給料月額を基礎に、賃金上昇率を毎年2%（インフレ率を参考）と仮定して推計した将来の退職金支給額

期間案分率……現時点の勤続年数÷全勤務期間

複利現価率……残存勤務期間（平均約18年）にわたって2%の割引率（長期プライムレートや長期国債等の金利水準を参考）を用いて現在価値に割り戻す率

以上の計算を個人ごとに行い、積み上げた金額を退職給与引当金としました。

【退職給与引当金の算定イメージ】



【正味財産の部】

正味財産の増減は下記の表のとおりです。

(1) 国・都支出金

固定資産の取得の際に、特定財源として充当された国庫支出金及び都支出金の累積額です。固定資産の減価償却に伴い、同様の方法で取り崩しています。

(2) 分担金・負担金・寄附金

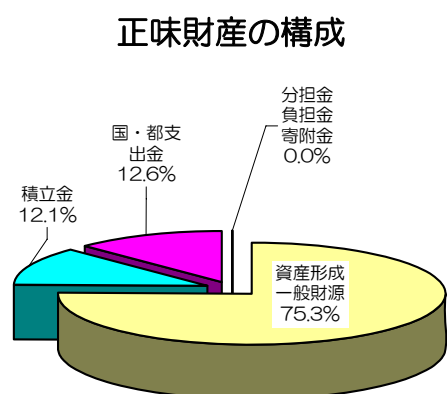
固定資産等の取得などの際に、特定財源として充当された工事負担金などの累積額です。固定資産の減価償却に伴い、同様の方法で取り崩しています。

(3) 積立金

財源の内訳として、流動資産に計上した財政調整基金及び投資その他に計上した基金の合計と同額を計上しました。

(4) 資産形成一般財源

資産のうち市税などの一般財源で形成された部分です。武蔵野市の場合は普通交付税の不交付団体のため、主に市民税、固定資産税などの市税によるものです。下の図をみると、平成19年度の正味財産に占める資産形成一般財源の割合が約75.3%、積立金12.1%、国・都支出金12.6%、分担金・負担金0%となっており、前年度と同様、一般財源の割合が高くなっていることがわかります。



正味財産増減表

(単位：千円)

	平成18年度	平成19年度
期首正味財産合計	216,325,088	225,846,134
国・都支出金		
期首残高	25,580,338	26,713,181
当期受入	1,443,823	2,545,948
当期償却	△ 310,980	△ 326,917
期末残高	26,713,181	28,932,212
分担金・負担金・寄附金		
期首残高	39,406	36,925
当期受入	0	1,472
当期償却	△ 2,481	△ 2,481
期末残高	36,925	35,916
資産形成一般財源・積立金		
期首残高	190,705,344	199,096,028
当期収支差額	8,347,878	5,031,598
財産収入等	66,212	136,336
資産移管等	△ 23,406	△ 2,422,924
当期純増減	8,390,684	2,745,010
期末残高	199,096,028	201,841,038
期末正味財産合計	225,846,134	230,809,166

【注 記】

1 債務負担行為

債務負担行為とは、地方自治体が建設工事をしたり土地を購入する場合、数年度にわたる債務を負担する契約を結ぶ等の将来の財政支出を約束する行為で、予算として定めます。債務負担行為は、乱用すると将来の財政運営を悪化させる恐れがあり、この予定額を的確に把握する必要があります。また、債務負担行為には、工事請負契約や物件購入契約など将来確実に財政負担となるものと、損失補償や債務保証など財政負担の発生が不確実なものがあります。内訳は次のとおりです。

債務負担行為の状況一覧

(単位：千円)

項 目	平成18年度	平成19年度	増 減
(1) 物件の購入等に係るもの	11,383,737	9,146,467	△ 2,237,270
①防災安全センター等西棟増築工事事業	543,119	0	△ 543,119
②武蔵境駅舎連続施設建設事業	0	83,299	83,299
③道路新設改良事業	56,700	58,090	1,390
④武蔵野市土地開発公社の公共用地先行取得事業	10,783,918	9,005,078	△ 1,778,840
(2) 債務保証または損失補償に係るもの	12,798,890	10,140,890	△ 2,658,000
①金融機関、国及び(財)道路開発振興センターに対する債務保証〔武蔵野市土地開発公社〕	11,205,000	8,705,000	△ 2,500,000
②金融機関に対する損失補償〔(財)武蔵野市開発公社〕	1,593,890	1,435,890	△ 158,000
③(財)武蔵野市開発公社が解散したときの負債	解散時の負債		
(3) その他	6,461,295	4,437,168	△ 2,024,127
①〇123の管理運営	260,868	172,090	△ 88,778
②自然の村の管理運営	72,051	50,996	△ 21,055
③コミュニティセンターの管理運営	264,663	176,044	△ 88,619
④武蔵野市民文化会館の管理運営	1,165,299	810,218	△ 355,081
⑤武蔵野芸能劇場の管理運営	146,877	98,520	△ 48,357
⑥武蔵野公会堂の管理運営	194,709	130,852	△ 63,857
⑦スイングホールの管理運営	372,810	248,596	△ 124,214
⑧吉祥寺美術館の管理運営	318,258	204,180	△ 114,078
⑨松露庵の管理運営	21,747	14,498	△ 7,249
⑩武蔵野市立吉祥寺シアターの管理運営	283,728	191,426	△ 92,302
⑪老人介護支援センター事業の管理運営	237,630	151,722	△ 85,908
⑫デイサービスセンター事業の管理運営	123,360	130,822	7,462
⑬高齢者総合センターの管理運営	385,194	219,816	△ 165,378
⑭北町高齢者センターの管理運営	23,328	8,442	△ 14,886
⑮軽費老人ホームの管理運営	504,456	336,304	△ 168,152
⑯武蔵野商工会館市民会議室の管理運営	29,550	19,700	△ 9,850
⑰体育施設の管理運営	1,656,906	1,126,932	△ 529,974
⑱(福)武蔵野に対する償還金補助	399,861	346,010	△ 53,851

(1) 物件の購入等に係るもの

物件の購入等に係るものには、複数年度にわたる工事や武蔵野市土地開発公社が先行取得した用地の買戻し費用が計上されています。武蔵境駅舎連続施設建設事業（8,000万円）が増えたものの、武蔵野市防災安全センター等西棟増築工事が完了し5億円減少したことや土地開発公社の公共用地先行取得事業が18億円減少したことなどにより、前年度に比べて22億円減少しました。

(2) 債務保証または損失補償に係るもの

武蔵野市が行っている債務保証または損失補償に係るものを計上していますが、将来的に必ず支出を予定しているものではなく、保証（補償）対象となる出資団体が事業を行うにあたり融資を受けた元金、利子及び損害金の支払いが不能となった場合に、市が負担する限度額を計上しています。平成19年度は、武蔵野市土地開発公社の金融機関、国及び(財)道路開発振興センターに対する債務保証が25億円、(財)武蔵野市開発公社の金融機関に対する損失補償が2億円、合計27億円減少しました。

(3) その他

その他には上記の区分に当てはまらない債務負担行為について計上しています。指定管理者制度の導入に伴い協定期間終了（平成21年度）までの管理運営委託費（①～⑰までの項目：平成20年度当初予算額×2年分）を計上し、全体で20億円の減少となりました。

2 一時借入金

武蔵野市では一般会計予算の中で一時借入金の最高額を30億円と定めていますが、最近9年間は実績がありません。

3 職員の退職年金制度について

市の職員は、公的な退職年金制度として全国市町村職員共済組合連合会（18年度まで東京都市町村職員共済組合）に加入しています。職員と市及び国はそれぞれ定められた掛け金を連合会に払い込んでおり、職員は退職後には連合会から年金を受け取ります。全国市町村職員共済組合連合会の年金事業の概要は以下のとおりです。この中に武蔵野市の職員も含まれています。（平成20年3月31日現在）

組合員総数	1,076,738人（うち武蔵野市組合員数1,071人）
年金受給権者数	791,996人（うち武蔵野市受給権者数841人）
長期給付積立金	9兆9,602億円

Ⅱ 行政コスト計算書

1 行政コスト計算書からわかること

行政コスト計算書は、行政サービス（行政が提供する資産形成以外のすべてのサービス）のコストを計算するためのものです。発生主義会計に基づき、事業費や職員人件費などの「現金支出」と、減価償却費、退職給与引当金繰入や貸倒引当金繰入などの「非現金支出」との合計額を、行政サービスのフル・コストとして計算します。行政コスト計算書により行政サービスの受益と負担の割合を見ることができます。

平成 19 年度の行政サービスコスト 448 億円に対し、収入は 498 億円であり、その収支差額は 50 億円となりました。

収入は、平成 19 年度は法人市民税を中心に市税が 16 億円減少したことなどにより、合計 23 億円減少しました。支出は退職手当による人件費の増、庁舎レイアウト変更による物件費の増などで合計 10 億円増えました。

収支差額 50 億円と、資産形成に関する収支差額△7,000 万円の合計 50 億円が、当年度の正味財産の増加額となっています。

市民 1 人当たりで計算すると、人件費 9 万円、物件費 9 万円、扶助費 5 万円など、合わせて 33 万円のコストがかかりました。これに対して市税 27 万円、国・都支出金 5 万円、使用料・手数料 1 万円など合わせて 37 万円の収入がありました。

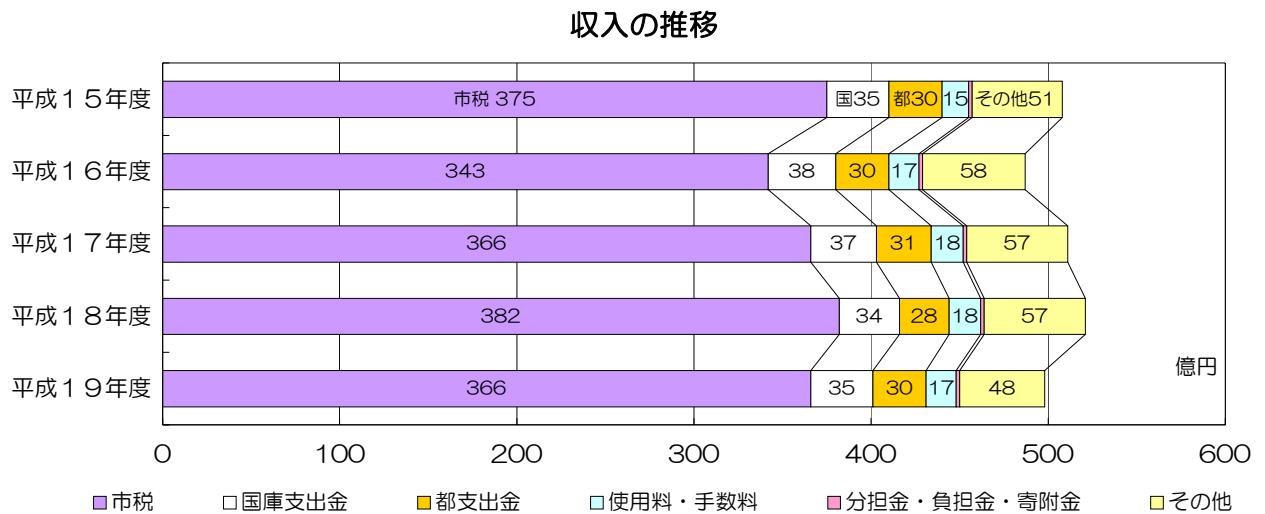
平成19年度 武蔵野市行政コスト計算書（市民1人当たり）

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで （単位：千円）

項 目 名		金 額
【収入の部】	市税	272
	国・都支出金	49
	使用料・手数料	13
	分担金・負担金・寄附金	1
	その他	35
	収入 合計	371
【支出の部】	人件費	86
	物件費	89
	扶助費	53
	補助費等	40
	公債費（利子分）	4
	減価償却費	22
	その他	40
支出 合計	333	
当期収支差額		38

2 収入の部

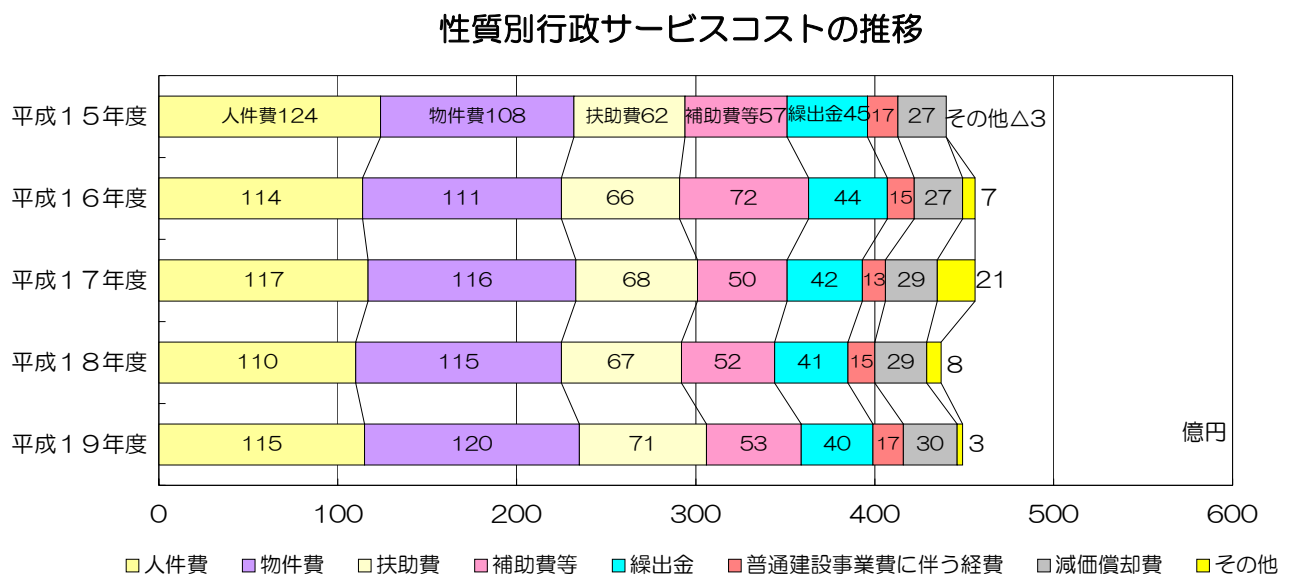
収入の部の年度別推移は、下図のとおりです。



平成19年度の市民税や固定資産税などの市税は、前年度より16億円減少して、366億円(収入の73.4%)となりました。法人市民税を中心に市民税が減少したことが主因です。税金については、三位一体改革による国庫補助負担金の一般財源化に伴い、所得税から個人住民税への税源移譲が実施されましたが、税率のフラット化により税率が下がる方が多く税金が減ることや、都市と地方との税金格差是正の動きもあることなどから、厳しい財政状況に推移していくことも予想されます。

3 支出の部

支出の部における性質別行政サービスコストの年度別推移は、下図のとおりです。



人件費、物件費、扶助費及び補助費等で支出の80%を占めています。人件費が前年度と比べ

て5億円増加しているのは、19年度は退職者が多く（70名）、退職金の支払額が6億円増加したためです。退職金については、平成20年度からの3年間で団塊世代の定年退職に伴い退職者数はピークを迎えるため、今後大幅な増加が見込まれます。退職金以外の人件費は、職員定数の適正化や特殊勤務手当の見直しなどにより減少傾向になっています。

物件費については、庁舎レイアウト変更委託（7,000万円）やレイアウト変更に伴う庁舎備品購入（1億6,000万円）、電子計算機等移転作業委託（6,000万円）の他、自転車放置防止指導業務委託（7,000万円）などの増により、5億円増加しました。

扶助費については、介護保険サービス利用者負担額助成事業などの減（4,000万円）があったものの、自立支援給付・地域生活支援事業（3億円）や児童手当等支給事業（1億円）などの増により、4億円増加しました。

繰出金については、1億円減少しました。国民健康保険事業会計で、税制改正や滞納繰越分の収納率の向上等により保険税が増えたため同会計への繰出金が減ったことが主な原因です。

支出のうち現金による支出を行政目的別に分類すると以下ようになります。

目的別現金支出の推移

(単位：千円)

項 目	平成18年度		平成19年度		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
議 会 費	463,499	1.1%	422,643	1.0%	△ 40,856
総 務 費	7,425,915	18.1%	8,317,612	19.5%	891,697
民 生 費	15,763,022	38.4%	16,078,637	37.7%	315,615
衛 生 費	4,876,539	11.9%	4,922,607	11.5%	46,068
労 働 費	297,123	0.7%	303,251	0.7%	6,128
農 業 費	39,032	0.1%	44,344	0.1%	5,312
商 工 費	301,749	0.7%	317,017	0.7%	15,268
土 木 費	3,227,595	7.9%	3,390,778	7.9%	163,183
消 防 費	1,972,637	4.8%	1,980,588	4.6%	7,951
教 育 費	4,688,005	11.4%	4,736,702	11.1%	48,697
災 害 復 旧 費	0	0.0%	0	0.0%	0
公 債 費 (利 子 分)	548,884	1.3%	505,238	1.2%	△ 43,646
普通建設事業に伴う経費	1,463,356	3.6%	1,666,896	3.9%	203,540
現金による支出 合計	41,067,356	100.0%	42,686,313	100.0%	1,618,957

総務費については、退職金の増（6億円）の他、庁舎レイアウト変更委託（7,000万円）や庁用備品の購入（2億円）などにより9億円増加しました。

民生費については、国民健康保険事業会計繰出金の減少や介護保険サービス利用者負担額助成事業の減少があったものの、自立支援給付・地域生活支援事業の増加（3億円）、児童手当等支

給事業の増加（1 億円）などにより 3 億円増加しました。

土木費については、自転車放置防止指導業務委託の増（7,000 万円）や土地開発公社運営費補助金の増（6,000 万円）などにより 2 億円増加しました。

現金支出をさらに目的別と性質別の両面から分類すると、下表のようになります。

平成19年度 目的別性質別現金支出

(単位：千円)

性質別 目的別	人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	繰出金	災害復旧費	公債費 (利子分)	普通建設事業 に伴う経費	現金支出
議会費	372,882	36,071			13,690					422,643
総務費	4,456,143	3,402,079	107,147		352,243					8,317,612
民生費	2,647,963	1,830,285	22,613	7,021,676	1,437,921	3,118,179				16,078,637
衛生費	989,516	3,215,570	4,489		713,032					4,922,607
労働費	21,386	191,316			90,549					303,251
農業費	25,387	10,308	1,398		7,251					44,344
商工費	80,644	71,567			164,806					317,017
土木費	1,029,268	820,201	374,469		294,840	872,000				3,390,778
消防費	55,647	149,456	54,779		1,720,706					1,980,588
教育費	1,842,426	2,240,777	82,433	51,384	519,682					4,736,702
災害復旧費										0
公債費(利子分)								505,238		505,238
普通建設事業 に伴う経費									1,666,896	1,666,896
現金支出	11,521,262	11,967,630	647,328	7,073,060	5,314,720	3,990,179	0	505,238	1,666,896	42,686,313

①人件費では、市役所の行政一般を受け持つ総務費が最も多く 45 億円となっています。これは退職金を総務費から支出していることが大きな理由です。2 番目に多いのは福祉を主に行う民生費の 26 億円で、市立保育園など福祉関連施設の従事職員数が多いことなどによります。

②物件費では、1 番目に多いのは総務費の 34 億円で、市庁舎や市民文化会館などの文化施設の維持管理委託や市庁舎の電子計算機の借上料などによります。2 番目に多いのは、保健衛生やごみ処理などを行っている衛生費の 32 億円で、これは基本健康診査事業、ごみ収集業務やクリーンセンターの運転管理業務を委託していることなどによります。3 番目に多いのは教育費の 22 億円ですが、校舎等の維持管理や総合体育館などの市立体育施設の維持管理を委託しているためです。

③扶助費は、ほとんどが民生費で 70 億円です。これには生活保護措置費、障害者への福祉手当等の支給、障害者自立支援給付費、乳幼児及び義務教育就学児医療費助成や児童手当等の支給などがあります。また、民間保育所の運営委託料も扶助費になります。

④補助費等は、消防費が最も多く 17 億円です。これは東京都への消防事務委託料などがあります。次に多いのが民生費の 14 億円で、福祉施設の運営費への補助金などによるものです。

⑤繰出金の中では、民生費の 31 億円は国民健康保険、老人保健（医療）、介護保険の各特別会計に対する繰出金で、土木費の 9 億円は下水道事業会計に対する繰出金です。

Ⅲ キャッシュ・フロー計算書

1 キャッシュ・フロー計算書からわかること

キャッシュ・フロー計算書は、行政活動を資金の流れから見るための情報で、「サービス、資産形成、財務」の3つの活動区分に分けて説明するものです。平成19年度のキャッシュ・フロー計算書から次のようなことがわかります。

①「行政サービス」（福祉、教育など様々な公的なサービスの提供）では、支出は427億円（行政コスト計算書の現金支出コストと等しい）でした。それに対し、市税などの収入が493億円ありました。その収支差額66億円のうち24億円が市債償還の財源となり、13億円が資産形成に、27億円が基金積立でに充てられています。

②「資産形成」（道路、学校などの資産形成）では、91億円を支出しましたが、その直接的な財源は国庫支出金や都支出金などの収入27億円ですので、差引64億円の資金不足となっています。そのため、市債発行15億円、「行政サービス」の収支差額から13億円、基金からの繰入金36億円が充てられています。

③「財務活動」（市債の発行・償還や基金の積立で・取崩しによる資金の運用・調達）では、市債の発行15億円と基金からの繰入金37億円などで、収入は52億円ありました。一方、市債の元金償還24億円と基金への積立金27億円などのため、支出は51億円となりました。

④行政サービスの収支差額66億円、資産形成の収支差額△64億円、財務活動の収支差額1,000万円の合計が当期の収支差額となりますが、平成19年度は2億円でした。前期の繰越金に当期の収支差額を加えて、当期末の歳計現金残高は30億円となりました。

2 キャッシュ・フローの年度別推移について

【平成17年度】

行政サービスに関する収支差額では、法人市民税の増や税制改正に伴い個人市民税の市税収入が増加し、また16年度にあった法人市民税の還付金がなくなり補助費等が大幅に減少したため、92億円に増加しました。資産形成に関する収支差額では、大野田小学校校舎改築事業や吉祥寺シアター建設事業等の完了により普通建設事業費が減少した結果△42億円となり、16年度に比べ資金の不足額が36億円減少しました。財務活動に関する収支差額では、市債発行額は11億円で16年度より17億円の減、また基金から21億円を取り崩したものの、61億円を積み立てたため全体としては△50億円となりました。その結果、収支差額合計は2,500万円と

なり歳計現金として 29 億円を翌年度に繰り越しました。

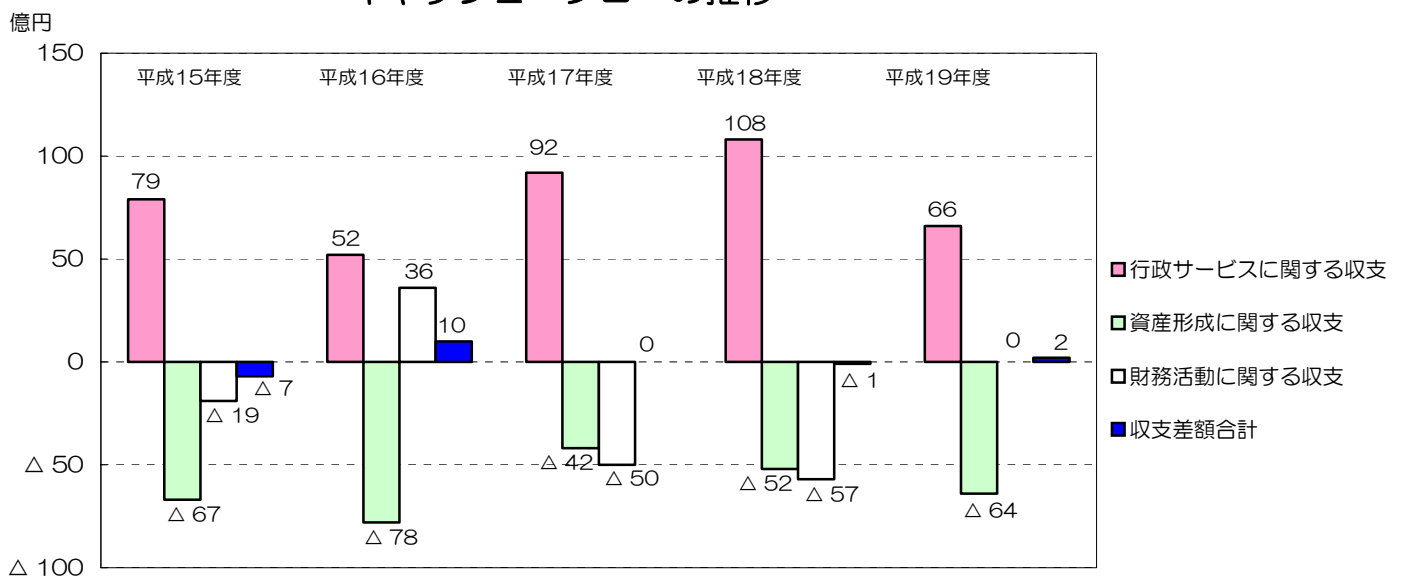
【平成 18 年度】

行政サービスに関する収支差額では、税制改正（定率減税の縮減等）などにより個人市民税等の市税収入が大幅に増加し、また職員給や退職金等の人件費の減少があったことなどにより、108 億円に増加しました。資産形成に関する収支差額では、防災安全センター等西棟増築工事が平成 18 年度にピークを迎えたことや陸上競技場や市道 308 号線等の用地の購入費が増加したことなどにより△52 億円となり、前年度に比べ資金の不足額が 10 億円増加しました。財務活動に関する収支差額では、市債発行額は 9 億円で前年度より 2 億円の減、また基金から 17 億円を取り崩したものの 60 億円を積み立てたため、全体としては△57 億円となりました。その結果、収支差額合計は△6,100 万円となり歳計現金として 28 億円を翌年度に繰り越しました。

【平成 19 年度】

行政サービスに関する収支差額では、法人市民税を中心に市税収入が大幅に減少し、また退職金等の人件費の増加があったことなどにより、66 億円に減少しました。資産形成に関する収支差額では、防災安全センター等西棟増築工事の減があったものの、農水省跡地利用施設事業(用地取得)が増加したことなどにより△64 億円となり、前年度に比べ資金の不足額が 12 億円増加しました。財務活動に関する収支差額では、市債発行額は 15 億円で前年度より 5 億円の増、また基金から 37 億円を取り崩す一方、27 億円を積み立てたため、全体としては 1000 万円の増となりました。その結果、収支差額合計は 2 億円となり歳計現金として 30 億円を翌年度に繰り越しました。

キャッシュ・フローの推移



§ 4 連結会計 武蔵野市の連結財務諸表について

(一般会計、特別会計、公営企業会計、財政援助出資団体)

I 連結貸借対照表

平成19年度 連結会計 武蔵野市連結貸借対照表

平成20年3月31日現在

(単位：千円)

借方	金額	構成比	貸方	金額	構成比
【資産の部】			【負債の部】		
1 流動資産			1 流動負債		
(1) 現金預金	7,099,263	2.2%	(1) 短期借入金	3,086,906	0.9%
(2) 基金	6,223,177	1.9%	(2) 未払金等	1,470,476	0.5%
(3) 未収金等	4,126,119	1.2%	流動負債合計	4,557,382	1.4%
(4) 貸倒引当金	△ 219,766	-0.1%			
流動資産合計	17,228,793	5.2%	2 固定負債		
2-1 有形固定資産			(1) 長期借入金	42,672,863	12.9%
(1) 土地	176,763,734	53.3%	(2) 退職給与引当金	13,046,891	3.9%
(2) 建物・構築物等	96,085,757	29.0%	(3) その他	3,981,203	1.2%
(3) その他	10,569,597	3.2%	固定負債合計	59,700,957	18.0%
2-2 無形固定資産	3,197,911	1.0%	負債合計	64,258,339	19.4%
固定資産合計	286,616,999	86.5%	【正味財産の部】		
3 投資その他			(1) 国・都支出金	34,313,127	10.4%
(1) 出資金及び有価証券	84,636	0.0%	(2) 分担金・負担金	3,220,206	1.0%
(2) 貸付金	456,526	0.1%	(3) 積立金	30,215,721	9.1%
(3) 基金	23,631,835	7.1%	(4) 基本財産・資本金	5,046,049	1.5%
(4) 基本財産	2,240,715	0.7%	(5) 資産形成一般財源	194,155,419	58.6%
(5) その他	949,357	0.3%	正味財産合計	266,950,522	80.6%
投資その他合計	27,363,069	8.3%			
資産合計	331,208,861	100.0%	負債・正味財産合計	331,208,861	100.0%

連結会計 武蔵野市比較連結貸借対照表（18年度・19年度）

（一般会計、特別会計、公営企業会計、財政援助出資団体）

（単位：千円）

借方	平成18年度	平成19年度	増減	貸方	平成18年度	平成19年度	増減
【資産の部】				【負債の部】			
1 流動資産				1 流動負債			
(1) 現金預金	8,301,960	7,099,263	△ 1,202,697	(1) 短期借入金	3,045,413	3,086,906	41,493
(2) 基金	6,204,895	6,223,177	18,282	(2) 未払金等	1,565,640	1,470,476	△ 95,164
(3) 未収金等	3,717,563	4,126,119	408,556				
(4) 貸倒引当金	△ 283,770	△ 219,766	64,004	流動負債合計	4,611,053	4,557,382	△ 53,671
流動資産合計	17,940,648	17,228,793	△ 711,855	2 固定負債			
2-1 有形固定資産				(1) 長期借入金	46,561,667	42,672,863	△ 3,888,804
(1) 土地	174,915,477	176,763,734	1,848,257	(2) 退職給与引当金	13,908,539	13,046,891	△ 861,648
(2) 建物・構築物等	94,017,689	96,085,757	2,068,068	(3) その他	4,178,395	3,981,203	△ 197,192
(3) その他	11,991,871	10,569,597	△ 1,422,274	固定負債合計	64,648,601	59,700,957	△ 4,947,644
2-2 無形固定資産	3,205,639	3,197,911	△ 7,728	負債合計	69,259,654	64,258,339	△ 5,001,315
固定資産合計	284,130,676	286,616,999	2,486,323	【正味財産の部】			
3 投資その他				(1) 国・都支出金	31,986,879	34,313,127	2,326,248
(1) 出資金及び有価証券	99,604	84,636	△ 14,968	(2) 分担金・負担金	3,197,800	3,220,206	22,406
(2) 貸付金	433,761	456,526	22,765	(3) 積立金	31,292,627	30,215,721	△ 1,076,906
(3) 基金	24,385,812	23,631,835	△ 753,977	(4) 基本財産・資本金	4,510,773	5,046,049	535,276
(4) 基本財産	2,240,715	2,240,715	0	(5) 資産形成一般財源	189,984,800	194,155,419	4,170,619
(5) その他	1,001,319	949,357	△ 51,962	正味財産合計	260,972,879	266,950,522	5,977,643
投資その他合計	28,161,211	27,363,069	△ 798,142				
資産合計	330,232,533	331,208,861	976,328	負債・正味財産合計	330,232,533	331,208,861	976,328

Ⅱ 連結行政コスト計算書・連結正味財産増減表

平成19年度 連結会計 武蔵野市連結行政コスト計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：千円)

項目名		金額	構成比
【収入の部】	市税	36,552,668	44.0%
	国・都支出金	15,192,448	18.3%
	使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	6,638,252	8.0%
	保険料・支払基金交付金	13,669,663	16.4%
	事業収入	2,997,992	3.6%
	その他	8,112,212	9.8%
収入 合計		83,163,235	100.0%
【支出の部】	人件費	15,295,022	18.4%
	物件費	13,768,161	16.6%
	公債費（利子分）	955,788	1.1%
	保険給付費・医療給付費	23,098,386	27.8%
	減価償却費	4,668,086	5.6%
	退職給与引当金繰入額	△ 851,634	-1.0%
	その他	20,440,358	24.6%
支出 合計		77,374,167	93.0%
当期収支差額		5,789,068	7.0%

平成19年度 連結会計 武蔵野市連結正味財産増減表

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：千円)

項目名	金額
期首正味財産残高	260,972,879
当期正味財産増加額	5,977,643
当期収支差額	5,789,068
資産形成に関する収支	188,575
期末正味財産残高	266,950,522

連結会計 武蔵野市比較連結行政コスト計算書（18年度・19年度）

（単位：千円）

項目名		平成18年度	平成19年度	増減
【収入の部】	市税	38,171,036	36,552,668	△ 1,618,368
	国・都支出金	14,752,130	15,192,448	440,318
	使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	6,876,098	6,638,252	△ 237,846
	保険料・支払基金交付金	13,229,364	13,669,663	440,299
	事業収入	2,873,857	2,997,992	124,135
	その他	7,996,565	8,112,212	115,647
収入 合計		83,899,050	83,163,235	△ 735,815
【支出の部】	人件費	14,517,838	15,295,022	777,184
	物件費	13,457,922	13,768,161	310,239
	公債費（利子分）	917,531	955,788	38,257
	保険給付費・医療給付費	22,784,147	23,098,386	314,239
	減価償却費	4,673,630	4,668,086	△ 5,544
	退職給与引当金繰入額	△ 201,905	△ 851,634	△ 649,729
	その他	19,407,027	20,440,358	1,033,331
支出 合計		75,556,190	77,374,167	1,817,977
当期収支差額		8,342,860	5,789,068	△ 2,553,792

連結会計 武蔵野市比較連結正味財産増減表（18年度・19年度）

（単位：千円）

項目名	平成18年度	平成19年度	増減
期首正味財産残高	251,197,649	260,972,879	9,775,230
当期正味財産増加額	9,775,230	5,977,643	△ 3,797,587
当期収支差額	8,342,860	5,789,068	△ 2,553,792
資産形成に関する収支	1,432,370	188,575	△ 1,243,795
期末正味財産残高	260,972,879	266,950,522	5,977,643

Ⅲ 連結キャッシュ・フロー計算書

平成19年度 連結会計 武蔵野市キャッシュ・フロー計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：千円)

項目名		金額
【行政サービスに関する収支】	市税	36,552,668
	国・都支出金	15,192,448
	使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	6,638,252
	保険料・支払基金交付金	13,669,663
	事業収入	3,003,081
	その他	7,192,386
	収入計	82,248,498
	人件費	15,290,786
	物件費	13,773,162
	公債費（利子分）	955,788
	保険給付費・医療給付費	23,098,386
	その他	24,119,125
	支出計	77,237,247
	行政サービスに関する収支差額	5,011,251
【資産形成に関する収支】	国・都支出金	2,817,094
	その他	210,503
	収入計	3,027,597
	普通建設事業費等	6,037,948
	支出計	6,037,948
	資産形成に関する収支差額	△ 3,010,351
【財務活動に関する収支】	借入金	1,895,100
	基金からの繰入金	3,747,477
	その他	84,743
	収入計	5,727,320
	元金償還額	5,726,899
	積立金	2,996,521
	その他	294,876
	支出計	9,018,296
	財務活動に関する収支差額	△ 3,290,976
	収支差額合計	△ 1,290,076
前年度繰越金	8,369,927	
当年度歳計現金（形式収支）	7,079,851	

連結会計 武蔵野市比較連結キャッシュ・フロー計算書（18年度・19年度）

（単位：千円）

項目名	平成18年度	平成19年度	増減
【行政サービスに関する収支】			
市税	38,171,036	36,552,668	△ 1,618,368
国・都支出金	14,752,130	15,192,448	440,318
使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	6,876,098	6,638,252	△ 237,846
保険料・支払基金交付金	13,229,364	13,669,663	440,299
事業収入	2,878,866	3,003,081	124,215
その他	7,484,261	7,192,386	△ 291,875
収入 計	83,391,756	82,248,498	△ 1,143,258
人件費	14,529,308	15,290,786	761,478
物件費	13,457,922	13,773,162	315,240
公債費（利子分）	917,531	955,788	38,257
保険給付費・医療給付費	22,784,147	23,098,386	314,239
その他	23,883,416	24,119,125	235,709
支出 計	75,572,324	77,237,247	1,664,923
行政サービスに関する収支差額	7,819,432	5,011,251	△ 2,808,181
【資産形成に関する収支】			
国・都支出金	1,558,723	2,817,094	1,258,371
その他	704,627	210,503	△ 494,124
収入 計	2,263,350	3,027,597	764,247
普通建設事業費等	8,607,432	6,037,948	△ 2,569,484
支出 計	8,607,432	6,037,948	△ 2,569,484
資産形成に関する収支差額	△ 6,344,082	△ 3,010,351	3,333,731
【財務活動に関する収支】			
借入金	4,312,100	1,895,100	△ 2,417,000
基金からの繰入金	2,394,939	3,747,477	1,352,538
その他	252,088	84,743	△ 167,345
収入 計	6,959,127	5,727,320	△ 1,231,807
元金償還額	3,382,813	5,726,899	2,344,086
積立金	6,119,684	2,996,521	△ 3,123,163
その他	342,794	294,876	△ 47,918
支出 計	9,845,291	9,018,296	△ 826,995
財務活動に関する収支差額	△ 2,886,164	△ 3,290,976	△ 404,812
収支差額合計	△ 1,410,814	△ 1,290,076	120,738
前年度繰越金	9,780,741	8,369,927	△ 1,410,814
当年度歳計現金（形式収支）	8,369,927	7,079,851	△ 1,290,076

§ 5 連結財務諸表の説明と分析について

1 連結財務諸表の作成について

一般会計、特別会計、公営企業会計及び市が出資、出えんなどを行い、密接な関連を有する財政援助出資団体までを連結の対象とした連結貸借対照表、連結行政コスト計算書、連結正味財産増減表、連結キャッシュ・フロー計算書の四表を作成しています。財政援助出資団体までを連結の対象にした連結行政コスト計算書、連結正味財産増減表、連結キャッシュ・フロー計算書は平成 14 年度から作成しています。

2 連結財務諸表の会計方針

(1) 連結の範囲

一般会計、特別会計（下水道事業会計、国民健康保険事業会計、老人保健（医療）会計、介護保険事業会計）、公営企業会計（水道事業会計）及び財政援助出資団体（11 団体）を連結の対象としました。連結の対象とした各財政援助出資団体の主な業務は次のとおりです。

区分	団体名	業務内容
出資団体	(財) 武蔵野市開発公社	武蔵野市における都市開発事業の円滑な推進
	武蔵野市土地開発公社	公共用地の先行取得・管理
	(財) 武蔵野市福祉公社	在宅高齢者に対する健康づくりの情報と福祉サービスの提供
	(財) 武蔵野文化事業団	市民が行う芸術文化の創造活動の援助
	(財) 武蔵野健康開発事業団	保健医療情報の提供及び各種検診事業、調査研究の実施
	(財) 武蔵野スポーツ振興事業団	生涯体育視点からのスポーツ振興事業の実施
援助団体	(社) 武蔵野市シルバー人材センター	高齢者への就業機会の提供
	(福) 武蔵野市民社会福祉協議会	社会福祉事業に関する調査・企画・宣伝
	武蔵野市国際交流協会	市民レベルの国際交流事業の促進
	武蔵野市子ども協会	地域住民による青少年の育成活動の促進
	(福) 武蔵野	地域における必要な福祉サービスの総合的な提供

(2) 連結の会計方針

①決算日の取扱い

一般会計と特別会計は、出納整理期間（4 月 1 日～5 月 31 日）を考慮して決算を行っ

ています。公営企業と財政援助出資団体は、3月31日現在で決算を行っています。

②内部取引の相殺

公営企業と財政援助出資団体では、出納整理期間中の市との取引について、市に対する未収金・未払金として計上していますが、これらは現金決済されたものとして決算修正をしています。

一般会計と特別会計、あるいは特別会計同士の繰出金及び繰入金は、武蔵野市の内部取引ですので相殺しています。

市から財政援助出資団体への補助金、事業委託料等としての支出は、武蔵野市の内部取引ですので相殺しています。

③出資金と基本財産の相殺

市からの出資金と財政援助出資団体の基本財産等とを相殺しています。

④個別財務諸表の作成

4つの特別会計についてはそれぞれの決算統計に基づいて、行政コスト計算書及びキャッシュ・フロー計算書を作成しました。

公営企業会計については、決算書などからキャッシュ・フロー計算書を作成しました。水道事業会計の借入資本金は企業会計上の借入金ですので、正味財産から負債へ振り替えました。武蔵野市土地開発公社の事業用土地は、公社の決算書では流動資産として計上されていますが、ここでは固定資産として計上しています。

財政援助出資団体については、事業活動収支計算書、正味財産増減表などから行政コスト計算書を、収支決算書、資金収支計算書などからキャッシュ・フロー計算書を作成しました。

なお、一般会計、公営企業会計、財政援助出資団体が適用している会計にはこの他にいくつかの会計基準の相違がありますが、それらの修正については、今後の検討課題にしたいと考えます。

3 連結貸借対照表からわかること

武蔵野市全体		市民1人当たり で見ると	市民1人当たり	
資産	負債		資産	負債
3,312億円	643億円	247万円	48万円	
	正味財産		正味財産	
	2,669億円		199万円	

平成19年度末の連結資産は3,312億円（前年度比10億円増加）、連結負債は643億円（前

年度比49億円減少)、連結正味財産は2,699億円(前年度比59億円増加)となりました。

市民1人当たりで見ると、資産は247万円、負債は48万円、正味財産は199万円です。

連結の対象となった特別会計、公営企業、財政援助出資団体は、全体として良好な財務状況といえます。これらは、公的サービスのすべてを直接行政が提供するのではなく、別個の経営団体として民間の経営手法を取り入れ、効率的なサービス提供をすることにその役割があり、団体の組織や職員定数、財政運営状況は市が定期的にチェックしています。

平成18年度と平成19年度の貸借対照表を比較した、主な特徴は次のとおりです。

(1) 資産について

資産合計は3,312億円(前年度比10億円増加)となりました。増加としては、一般会計で、農水省跡地利用施設建設用地の取得などによる固定資産の増加(37億円)、減少としては、特定目的基金の減少による投資その他の減少(9億円)、武蔵野市土地開発公社で保有土地を売却したことによる固定資産の減少(17億円)などが金額の大きいものです。なお、武蔵野市土地開発公社の土地には、国の事業である東京外かく環状道路事業のための用地4億円を含んでいます。

資産の主な内訳としては、現金預金71億円、基金62億円などの流動資産が172億円、土地1,768億円、建物・構築物等961億円などの固定資産が2,866億円、投資その他が274億円です。

(2) 負債について

借入金残高は458億円(前年度比38億円減少)となりました。これは、長期借入金が武蔵野市土地開発公社で25億円、一般会計で9億円、それぞれ減少したことによります。なお、武蔵野市土地開発公社の借入金残高には、国の事業である東京外かく環状道路事業に係る用地取得等のための借入金3億8,000万円を含んでいます。これは、事業完成後に全額を国から補てんされることになっています。

固定負債の退職給与引当金は、一般会計で職員数の減少があったため8億円減少しました。

これらにより負債合計は49億円減少して643億円となりました。

負債の主な内訳としては、短期借入金及び長期借入金が458億円、退職給与引当金が130億円などです。

(3) 正味財産について

正味財産合計は2,669億円(前年度比59億円増加)で、そのうち一般会計での増加が49億円となりました。

正味財産比率（正味財産合計／資産合計）は、80.6%となり、一般会計と同様に高い水準を維持しており、良好な財務状況にあるといえます。現在の正味財産を将来に渡って維持できるような責任ある財政運営をしていくことが重要であると考えます。

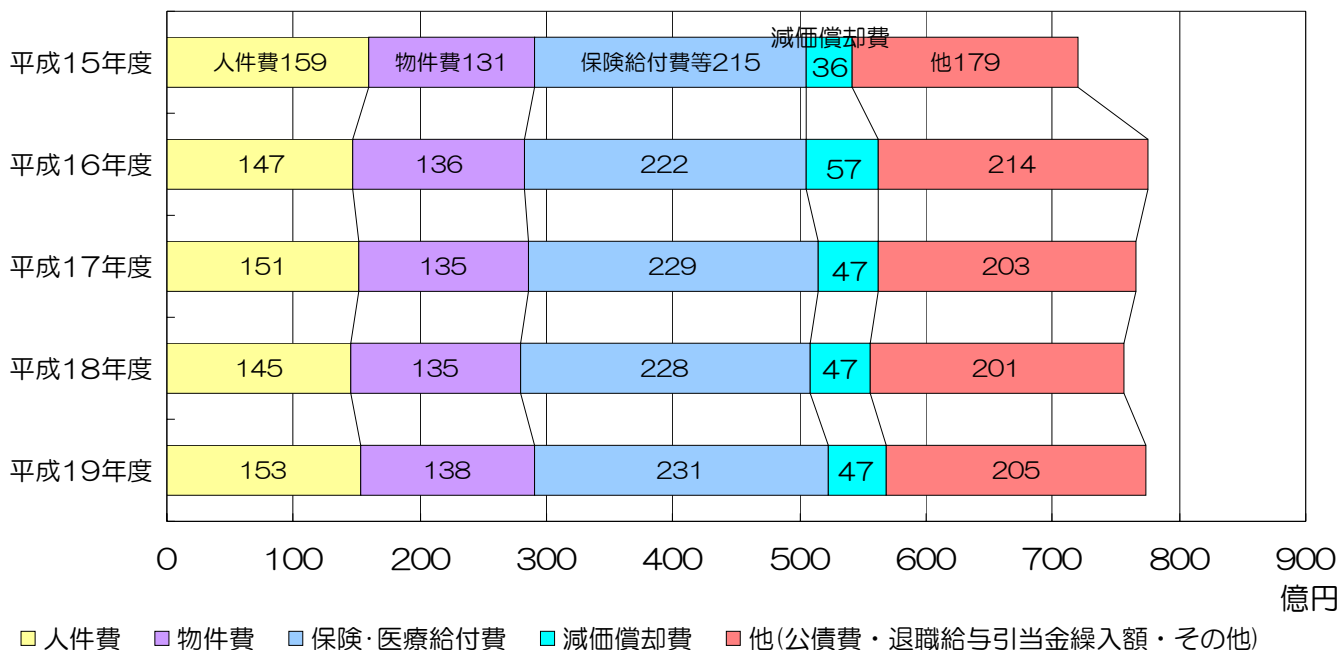
正味財産の主な内訳としては、国・都支出金 343 億円、積立金 302 億円、資産形成一般財源 1,942 億円などです。

4 連結行政コスト計算書からわかること

武蔵野市の一般会計と特別会計、公営企業会計、財政援助出資団体とを合わせた全体の行政サービスコスト 774 億円に対し、収入は 832 億円となり、収支差額は 58 億円となりました。平成 18 年度と比較すると、行政サービスコストは 18 億円増加、収入は 7 億円減少したため収支差額は 25 億円の減少となりました。

団体別では、（財）武蔵野文化事業団、（財）武蔵野健康開発事業団、（財）武蔵野スポーツ振興事業団、（社）武蔵野市シルバー人材センター、（福）武蔵野市民社会福祉協議会、武蔵野市国際交流協会及び（福）武蔵野の当期収支差額がマイナスになっていますが、これは、内部留保に余裕があるため市からの補助金や事業委託料を減額した結果、当期収支差額がマイナスになったものです。

性質別行政サービスコストの推移

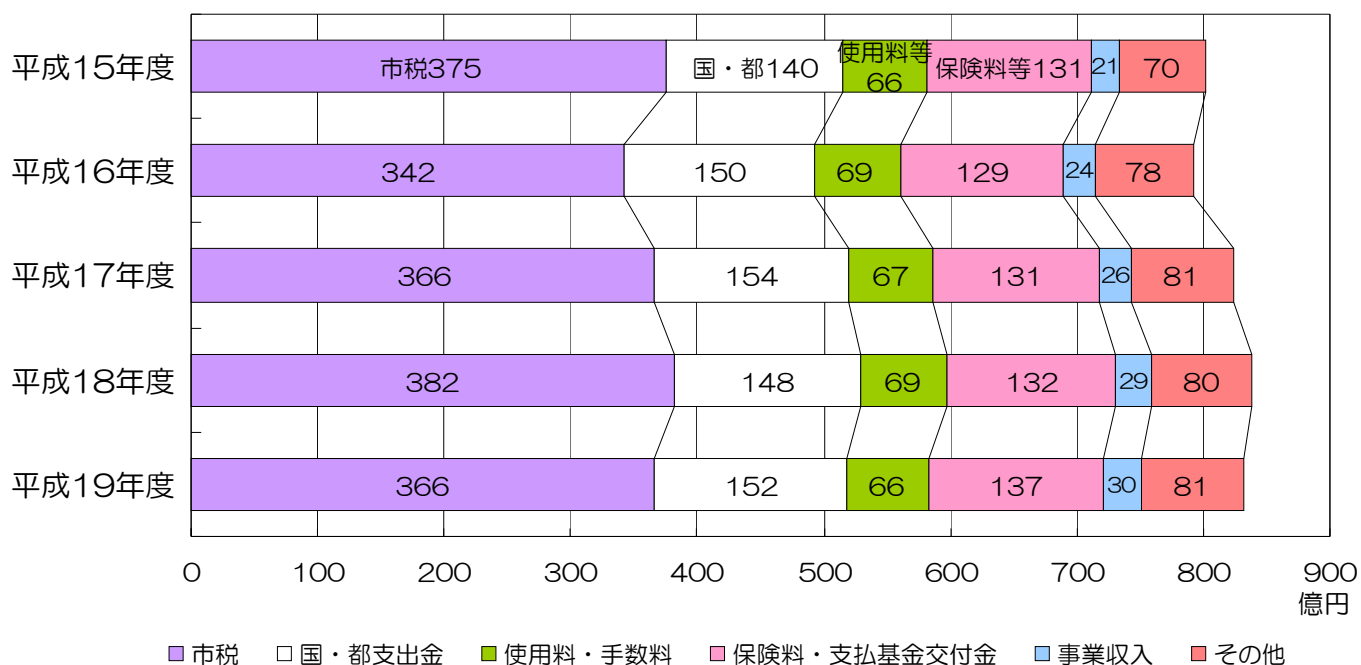


支出の内訳で最も多かったのは、国民健康保険や老人保健医療、介護保険に対する保険給付費・医療給付費で、231 億円（前年度比 3 億円増加）です。内訳は、国民健康保険事業会計が 4 億円の増加、老人保健（医療）会計が 2 億円の減少、介護保険事業会計が 1 億円の増加となっています。

次に多かったのはその他の支出です。（財）武蔵野市開発公社で 6 億円の減少がありましたが、一般会計で 6 億円、水道事業会計で 4 億円、国民健康保険事業会計で 7 億円、それぞれ増加したことにより、204 億円（前年度比 10 億円増加）となりました。

以下、人件費 153 億円、物件費 138 億円となっています。

収入の推移



収入の内訳で最も多かったのは市税収入の366億円で、前年度より16億円減少しました。これは、景気の低迷等による法人市民税の大幅な減少があったためです。次に多かったのは国・都支出金で152億円（前年度比4億円増加）、続いて保険料・支払基金交付金が137億円（前年度比4億円増加）でした。

市民 1 人当たりで見ると 58 万円のコストがかかり、そのうちの 11 万円が人件費に、10 万円が物件費に、17 万円が保険給付や医療給付の支払いにかかったこととなります。収入を見ると、市民 1 人当たり 27 万円の市税と 10 万円の保険料などを負担していることとなります。

平成19年度 武蔵野市連結行政コスト計算書（市民1人当たり）

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで （単位：千円）

項目名		金額
【収入の部】	市税	272
	国・都支出金	113
	使用料・手数料・分担金・負担金・寄付金	49
	保険料・支払基金交付金	102
	事業収入	22
	その他	60
	収入 合計	618
【支出の部】	人件費	114
	物件費	103
	公債費（利子分）	7
	保険給付費・医療給付費	172
	減価償却費	35
	退職給与引当金繰入額	△ 6
	その他	152
支出 合計	577	
当期収支差額		41

5 連結キャッシュ・フロー計算書からわかること

連結キャッシュ・フロー計算書から次のようなことがわかります。

①「行政サービス」では、支出は人件費や保険給付費などで 772 億円となりました。これに対する収入は市税や国・都支出金、保険料・支払基金交付金を中心とした 822 億円で、その収支差額は 50 億円でした。この収支差額は資産形成のための財源となっています。

収支差額の主なものは一般会計が 66 億円、水道事業会計が 9 億円、武蔵野市土地開発公社が 14 億円などです。

②「資産形成」では、60 億円の支出に対し収入は 30 億円で、収支差額は 30 億円の資金不足となっています。この資金不足は借入金や基金の取崩しにより資金調達されています。

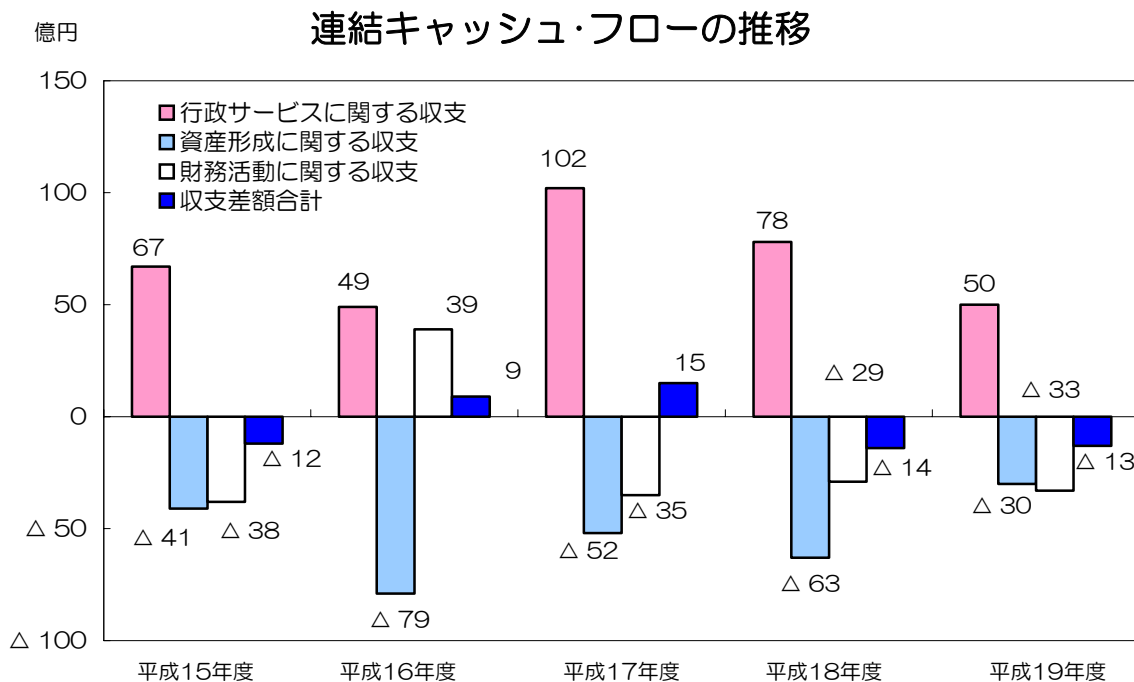
収支差額の主なものは、一般会計が△64 億円、下水道事業会計で△4 億円、水道事業会計が△8 億円、(財)武蔵野市開発公社が△2 億円などです。

③「財務活動」では、基金への積立てや借入金の返済などに90億円かかり、新規の借入れや基金の取崩しなどによる収入は57億円で、収支差額は33億円のマイナスでした。

収支差額の主なものは、下水道事業会計が4億円、介護保険事業会計が△2億円、水道事業会計が△2億円、(財)武蔵野市開発公社が△6億円、武蔵野市土地開発公社が△25億円などです。

④行政サービスの収支差額50億円、資産形成の収支差額△30億円、財務活動の収支差額△33億円の合計、△13億円が当期の収支差額となります。主なものは、(財)武蔵野市開発公社△2億円、武蔵野市土地開発公社△11億円などです。

前年度繰越金84億円の当期の収支差額を加えて、当期末の歳計現金残高は71億円となり、この歳計現金は翌年度に繰り越しました。



6 一般会計からの繰出状況

一般会計から特別会計や財政援助出資団体への支出額は、全体で129億円(平成18年度99億円)となりました。そのうち行政サービスに関するものが123億円、資産形成に関するものが4億円、財務活動に関するものが2億円になっています。

会計別では、下水道事業会計へ9億円、国民健康保険事業会計へ12億円、老人保健(医療)会計へ7億円、介護保険事業会計へ12億円を支出しています。前年度と比較すると、下水道事業会計では、建設費繰出金が減少したため2,800万円の減少、国民健康保険事業会計では、

税制改正や収納率の上昇により赤字補てん分が減少したため1億円の減少、老人保健（医療）会計では、後期高齢者医療制度創設にかかる準備経費の増加などにより3,200万円の増加、介護保険事業会計では制度改正などにより100万円の減少となっています。福祉の3会計への繰出金は合計で31億円となり、前年度に比べて1億円減額になりました。

また、武蔵野市土地開発公社への支出は54億円で、18年度より33億円増加しました。これは、市への土地の売却が増加したことによるものです。

一般会計から各団体（会計）に対する支出額前年度比較

（単位：千円）

	団体（会計）名	平成 18 年度	平成 19 年度	増減
特別会計	下水道事業会計	900,000	872,000	△28,000
	国民健康保険事業会計	1,311,883	1,182,792	△129,091
	老人保健（医療）会計	669,952	702,095	32,143
	介護保険事業会計	1,203,015	1,201,985	△1,030
	特別会計 計	4,084,850	3,958,872	△125,978
公営企業	水道事業会計	205,373	211,604	6,231
出資団体	（財）武蔵野市開発公社	332,502	33,509	△298,993
	武蔵野市土地開発公社	2,091,478	5,422,551	3,331,073
	（財）武蔵野市福祉公社	423,784	416,803	△6,981
	（財）武蔵野文化事業団	814,324	788,096	△26,228
	（財）武蔵野健康開発事業団	165,518	152,543	△12,975
	（財）武蔵野スポーツ振興事業団	547,236	555,905	8,669
	出資団体 計	4,374,842	7,369,407	2,994,565
援助団体	（社）武蔵野市シルバー人材センター	252,374	258,559	6,185
	（福）武蔵野市民社会福祉協議会	82,600	83,113	513
	武蔵野市国際交流協会	49,286	43,863	△5,423
	武蔵野市子ども協会	64,587	86,956	22,369
	（福）武蔵野	828,567	852,698	24,131
	援助団体 計	1,277,414	1,325,189	47,775
	合 計	9,942,479	12,865,072	2,922,593

7 債務負担行為について

市の債務負担行為の支出先別の金額は次のとおりです。

一般会計の欄は、支出先が連結会計の対象以外のものの合計金額です。この他に、金額が確定していないものとして、(財)武蔵野市開発公社が解散した場合の負債の保証があります。

市の債務負担行為（支払先別）

(単位：億円)

	団体（会計）名	物件の購入など	債務保証など	その他	合計
	一般会計	91		2	93
特別会計	下水道事業会計				
	国民健康保険事業会計				
	老人保健（医療）会計				
	介護保険事業会計				
公営企業	水道事業会計				
出資団体	(財)武蔵野市開発公社		14		14
	武蔵野市土地開発公社		87		87
	(財)武蔵野市福祉公社			4	4
	(財)武蔵野文化事業団			17	17
	(財)武蔵野健康開発事業団				
	(財)武蔵野スポーツ振興事業団			12	12
援助団体	(社)武蔵野市シルバー人材センター				
	(福)武蔵野市民社会福祉協議会				
	武蔵野市国際交流協会				
	武蔵野市子ども協会			2	2
	(福)武蔵野			8	8
	合計	91	101	45	237

※一般会計の一時借入金の借入れの最高額は予算で30億円と定められていますが、最近9年間は実績がありません。

「その他」には、市の施設の管理運営を行う指定管理者に対するものが含まれます。（§3 財務諸表の説明と分析についてⅠ貸借対照表【注記】を参照）

これらは、協定期間終了までの委託費（2年分の概算額）を計上しています。（財）武蔵野文化事業団への文化施設の管理運営費、（財）武蔵野スポーツ振興事業団への体育施設と自然の村の管理運営費、武蔵野市子ども協会への0123施設の管理運営費、（財）武蔵野市福祉公社への高齢者総合センターと北町高齢者センターの管理運営費、（福）武蔵野への軽費老人ホームの管理運営費などがあります。

平成19年度 武蔵野市連結貸借対照表（明細表）

項目	一般会計	特別会計				公営企業	出資団体		
		下水道事業 会計	国民健康保 険事業会計	老人保健 (医療) 会計	介護保険 事業会計	水道事業 会計	(財) 武蔵野市 開発公社	武蔵野市土 地開発公社	(財) 武蔵野市 福祉公社
【資産の部】									
1 流動資産	11,136,754	68,972	1,123,265	1,734	172,921	2,932,585	241,280	388,213	300,293
(1) 現金預金	2,978,959	10,618	84,782	1,734	133,517	2,417,745	193,998	281,572	219,249
(2) 基金	6,223,177								
(3) 未収金等	2,027,793	61,425	1,139,937		49,378	514,840	47,282	106,641	81,044
(4) 貸倒引当金	△ 93,175	△ 3,071	△ 101,454		△ 9,974				
2 固定資産	233,016,819	11,593,831				15,454,241	13,592,653	9,105,258	25,819
(1) 土地	162,179,285					222,157	2,857,715	9,103,249	
(2) 建物・構築物等	66,440,984	8,379,507				14,246,532	5,688,534	2,009	18,835
(3) その他	4,396,550	3,214,324				985,479	1,884,041		4,296
2-2 無形固定資産						73	3,162,363		2,688
3 投資その他	24,346,150		10,000		265,973		1,038,294	5,050	787,295
(1) 出資金及び有価証券	2,194,781						18,800	50	
(2) 貸付金	417,967								
(3) 基金	21,733,402		10,000		265,973		75,137		371,300
(4) 基本財産							10,000	5,000	415,995
(5) その他							934,357		
資産合計	268,499,723	11,662,803	1,133,265	1,734	438,894	18,386,826	14,872,227	9,498,521	1,113,407
【負債の部】									
1 流動負債	2,404,462	92,997	6,948		9,019	940,836	456,881	251,954	56,279
(1) 短期借入金	2,403,658	92,997			5,386	211,865	328,000		
(2) 未払金等	804		6,948		3,633	728,971	128,881	251,954	56,279
2 固定負債	35,286,095	3,380,836				5,945,328	5,829,418	8,705,000	46,700
(1) 長期借入金	22,648,741	3,380,836				5,821,407	1,801,890	8,705,000	
(2) 退職給与引当金	12,637,354					123,921	55,137		46,700
(3) その他							3,972,391		
負債合計	37,690,557	3,473,833	6,948		9,019	6,886,164	6,286,299	8,956,954	102,979
【正味財産の部】									
(1) 国・都支出金	28,932,212	1,366,485				578,532			
(2) 分担金・負担金	35,916	262,277				2,922,013			
(3) 積立金	27,956,579					2,066,234			
(4) 基本財産・資本金						4,941,329	10,000	5,000	415,995
(5) 資産形成一般財源	173,884,459	6,560,208	1,126,317	1,734	429,875	992,554	8,575,928	536,567	594,433
正味財産合計	230,809,166	8,188,970	1,126,317	1,734	429,875	11,500,662	8,585,928	541,567	1,010,428
うち当期期末正味財産増減額	4,963,032	131,110	155,228	△ 9,615	118,624	541,543	9,170	128,603	111,828
負債・正味財産合計	268,499,723	11,662,803	1,133,265	1,734	438,894	18,386,826	14,872,227	9,498,521	1,113,407

平成20年3月31日現在

(単位：千円)

			援助団体					小計	連結修正	合計
(財) 武蔵野文化事業団	(財) 武蔵野健康開発事業団	(財) 武蔵野スポーツ振興事業団	(社) 武蔵野市シルバー人材センター	(福) 武蔵野市市民社会福祉協議会	武蔵野市国際交流協会	武蔵野市子ども協会	(福) 武蔵野			
224,002	67,241	37,729	64,400	24,323	12,672	14,915	569,849	17,381,148	△ 152,355	17,228,793
204,479	53,933	36,217	27,577	35,081	12,662	14,915	372,813	7,079,851	19,412	7,099,263
								6,223,177		6,223,177
19,523	13,308	1,512	37,081	1,076	10		197,036	4,297,886	△ 171,767	4,126,119
			△ 258	△ 11,834				△ 219,766		△ 219,766
13,335	26,148	10,999	5,083	1,263		3,917	3,767,633	286,616,999		286,616,999
							2,401,328	176,763,734		176,763,734
			50				1,309,306	96,085,757		96,085,757
164	23,501		4,646	1,263			55,333	10,569,597		10,569,597
13,171	2,647	10,999	387			3,917	1,666	3,197,911		3,197,911
854,470	724,861	544,126	19,656	561,743	2,279	5,500	333,667	29,499,064	△ 2,135,995	27,363,069
	7,000							2,220,631	△ 2,135,995	84,636
				38,559				456,526		456,526
52,750	217,861	44,126	19,656	520,184	2,279	5,500	313,667	23,631,835		23,631,835
801,720	500,000	500,000		3,000			5,000	2,240,715		2,240,715
							15,000	949,357		949,357
1,091,807	818,250	592,854	89,139	587,329	14,951	24,332	4,671,149	333,497,211	△ 2,288,350	331,208,861
180,931	8,344	37,729	46,123	13,911	1,780	5,535	196,008	4,709,737	△ 152,355	4,557,382
							45,000	3,086,906		3,086,906
180,931	8,344	37,729	46,123	13,911	1,780	5,535	151,008	1,622,831	△ 152,355	1,470,476
7,212	22,261	21,578	3,934	8,529	2,279	6,039	435,748	59,700,957		59,700,957
							314,989	42,672,863		42,672,863
7,212	22,261	12,766	3,934	8,529	2,279	6,039	120,759	13,046,891		13,046,891
		8,812						3,981,203		3,981,203
188,143	30,605	59,307	50,057	22,440	4,059	11,574	631,756	64,410,694	△ 152,355	64,258,339
							3,435,898	34,313,127		34,313,127
								3,220,206		3,220,206
							192,908	30,215,721		30,215,721
801,720	500,000	500,000		3,000			5,000	7,182,044	△ 2,135,995	5,046,049
101,944	287,645	33,547	39,082	561,889	10,892	12,758	405,587	194,155,419		194,155,419
903,664	787,645	533,547	39,082	564,889	10,892	12,758	4,039,393	269,086,517	△ 2,135,995	266,950,522
△ 12,325	△ 26,168	△ 20,754	△ 18,325	△ 26,481	△ 5,197	1,570	△ 64,200	5,977,643		5,977,643
1,091,807	818,250	592,854	89,139	587,329	14,951	24,332	4,671,149	333,497,211	△ 2,288,350	331,208,861

平成19年度 武蔵野市連結行政コスト計算書（明細表）

項目	一般会計	特別会計				公営企業	出資団体		
		下水道事業 会計	国民健康保 険事業会計	老人保健 (医療) 会計	介護保険事 業会計	水道事業 会計	(財) 武蔵野市 開発公社	武蔵野市土 地開発公社	(財) 武蔵野市 福祉公社
市税	36,552,668								
国・都支出金	6,566,549		2,908,559	2,998,589	2,718,751				
使用料・手数料・分担金・負担金	1,904,814	1,437,519				3,295,919			
保険料・支払基金交付金			4,366,270	5,541,451	3,761,942				
事業収入							1,381,923	5,206,443	736,112
その他	4,766,091	392,370	4,226,777	702,371	1,210,295	117,403	44,444	259,483	297,481
収入 計	49,790,122	1,829,889	11,501,606	9,242,411	7,690,988	3,413,322	1,426,367	5,465,926	1,033,593
人件費	11,521,262	140,205	212,985	56,066	213,164	597,295	84,602	29,784	521,079
物件費	11,967,630	278,269	72,252	47,029	224,409	1,631,214	395,927	26,961	283,074
公債費（利子分）	505,238	101,099				154,526	39,639	139,748	
保険給付費・医療給付費			6,961,685	9,135,237	7,001,464				
減価償却費	2,963,383	464,557				494,913	565,119	186	4,264
退職給与引当金繰入額	△ 836,187					△ 46,448			5,430
その他	18,637,198	1,296,657	4,099,456	13,694	133,327	271,045	311,621	5,140,644	107,918
支出 計	44,758,524	2,280,787	11,346,378	9,252,026	7,572,364	3,102,545	1,396,908	5,337,323	921,765
当期収支差額	5,031,598	△ 450,898	155,228	△ 9,615	118,624	310,777	29,459	128,603	111,828

期首正味財産残高	225,846,134	8,057,860	971,089	11,349	311,251	10,959,119	8,576,758	412,964	898,600
当期正味財産増加額	4,963,032	131,110	155,228	△ 9,615	118,624	541,543	9,170	128,603	111,828
当期収支差額	5,031,598	△ 450,898	155,228	△ 9,615	118,624	310,777	29,459	128,603	111,828
資産形成に関する収支・基金調整額	△ 68,566	582,008				230,766	△ 20,289		
期末正味財産残高	230,809,166	8,188,970	1,126,317	1,734	429,875	11,500,662	8,585,928	541,567	1,010,428

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：千円)

			援助団体					小計	連結修正	合計
(財) 武蔵野文化事業団	(財) 武蔵野健康開発事業団	(財) 武蔵野スポーツ振興事業団	(社) 武蔵野市シルバー人材センター	(福) 武蔵野市民社会福祉協議会	武蔵野市国際交流協会	武蔵野市子ども協会	(福) 武蔵野			
								36,552,668		36,552,668
								15,192,448		15,192,448
								6,638,252		6,638,252
								13,669,663		13,669,663
986,354	112,063	619,634	424,217	29,918	3,259	86,956	1,147,066	10,733,945	△ 7,735,953	2,997,992
35,049	115,644	5,172	81,936	97,396	43,893	792	483,334	12,879,931	△ 4,767,719	8,112,212
1,021,403	227,707	624,806	506,153	127,314	47,152	87,748	1,630,400	95,666,907	△ 12,503,672	83,163,235
259,904	151,217	216,470	76,524	82,133	34,185	62,625	1,035,522	15,295,022		15,295,022
678,628	86,953	373,877	60,748	35,690	15,399	18,496	422,734	16,619,290	△ 2,851,129	13,768,161
		58					15,480	955,788		955,788
								23,098,386		23,098,386
7,240	8,162	3,666	2,415	753		49	153,379	4,668,086		4,668,086
				995	1,143		23,433	△ 851,634		△ 851,634
87,956	7,543	51,489	384,791	34,224	1,622	5,008	44,052	30,628,245	△ 10,187,887	20,440,358
1,033,728	253,875	645,560	524,478	153,795	52,349	86,178	1,694,600	90,413,183	△ 13,039,016	77,374,167
△ 12,325	△ 26,168	△ 20,754	△ 18,325	△ 26,481	△ 5,197	1,570	△ 64,200	5,253,724	535,344	5,789,068

915,989	813,813	554,301	57,407	591,370	16,089	11,188	4,103,593	263,108,874	△ 2,135,995	260,972,879
△ 12,325	△ 26,168	△ 20,754	△ 18,325	△ 26,481	△ 5,197	1,570	△ 64,200	5,977,643		5,977,643
△ 12,325	△ 26,168	△ 20,754	△ 18,325	△ 26,481	△ 5,197	1,570	△ 64,200	5,253,724	535,344	5,789,068
								723,919	△ 535,344	188,575
903,664	787,645	533,547	39,082	564,889	10,892	12,758	4,039,393	269,086,517	△ 2,135,995	266,950,522

平成19年度 武蔵野市連結キャッシュ・フロー計算書（明細表）

項目	一般会計	特別会計				公営企業	出資団体		
		下水道事業 会計	国民健康保 険事業会計	老人保健 (医療) 会計	介護保険事 業会計		(財) 武蔵野市 開発公社	武蔵野市土 地開発公社	(財) 武蔵野市福 祉公社
行政サービスに関する収支									
市税	36,552,668								
国・都支出金	6,566,549		2,908,559	2,998,589	2,718,751				
使用料・手数料・分担金・負担金	1,904,814	1,437,519				3,295,919			
保険料・支払基金交付金			4,366,270	5,541,451	3,761,942				
事業収入							1,381,923	5,206,443	736,112
その他	4,241,809	398,595	4,081,101	702,371	1,202,183	12,082	69,659	159,597	294,421
収入 計	49,265,840	1,836,114	11,355,930	9,242,411	7,682,876	3,308,001	1,451,582	5,366,040	1,030,533
人件費	11,521,262	140,205	212,985	56,066	213,164	597,295	81,639	29,784	521,079
物件費	11,967,630	278,269	72,252	47,029	224,409	1,631,214	395,927	26,961	283,074
公債費（利子分）	505,238	101,099				154,526	39,639	139,748	
保険給付費・医療給付費			6,961,685	9,135,237	7,001,464				
その他	18,692,183	1,296,969	4,091,027	13,694	130,659		391,949	3,765,093	115,593
支出 計	42,686,313	1,816,542	11,337,949	9,252,026	7,569,696	2,383,035	909,154	3,961,586	919,746
行政サービスに関する収支差額	6,579,527	19,572	17,981	△ 9,615	113,180	924,966	542,428	1,404,454	110,787
資産形成に関する収支									
国・都支出金	2,545,948	97,446				173,700			
その他	137,808	359,995				39,298	39,091		
収入 計	2,683,756	457,441				212,998	39,091		
普通建設事業費等	9,110,236	838,426				1,047,270	218,205	2,195	
支出 計	9,110,236	838,426				1,047,270	218,205	2,195	
資産形成に関する収支差額	△ 6,426,480	△ 380,985				△ 834,272	△ 179,114	△ 2,195	
財務活動に関する収支									
借入金	1,462,400	332,700					100,000		
基金からの繰入金	3,663,229								5,800
その他	25,299	124,567					19,553		
収入 計	5,150,928	457,267					119,553		5,800
元金償還額	2,367,574	95,763			5,386	194,176	519,000	2,500,000	
積立金	2,721,599				234,647		2,964		9,730
その他	52,460						197,331		
支出 計	5,141,633	95,763			240,033	194,176	719,295	2,500,000	9,730
財務活動に関する収支差額	9,295	361,504			△ 240,033	△ 194,176	△ 599,742	△ 2,500,000	△ 3,930
収支差額合計	162,342	91	17,981	△ 9,615	△ 126,853	△ 103,482	△ 236,428	△ 1,097,741	106,857
前年度繰越金	2,816,617	10,527	66,801	11,349	260,370	2,521,227	430,426	1,379,313	112,392
当年度歳計現金（形式収支）	2,978,959	10,618	84,782	1,734	133,517	2,417,745	193,998	281,572	219,249

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：千円)

			援助団体					小計	連結修正	合計
(財) 武蔵野文化事業団	(財) 武蔵野健康開発事業団	(財) 武蔵野スポーツ振興事業団	(社) 武蔵野市シルバー人材センター	(福) 武蔵野市民社会福祉協議会	武蔵野市国際交流協会	武蔵野市子ども協会	(福) 武蔵野			
								36,552,668		36,552,668
								15,192,448		15,192,448
								6,638,252		6,638,252
								13,669,663		13,669,663
986,354	112,063	619,634	424,217	35,007	3,259	86,956	1,147,066	10,739,034	△ 7,735,953	3,003,081
28,533	117,148	3,284	93,918	94,727	43,883	792	416,002	11,960,105	△ 4,767,719	7,192,386
1,014,887	229,211	622,918	518,135	129,734	47,142	87,748	1,563,068	94,752,170	△ 12,503,672	82,248,498
256,456	147,484	216,470	76,524	88,041	34,185	62,625	1,035,522	15,290,786		15,290,786
683,629	86,953	373,877	60,748	35,690	15,399	18,496	422,734	16,624,291	△ 2,851,129	13,773,162
		58					15,480	955,788		955,788
								23,098,386		23,098,386
57,914	10,081	75,194	388,381	36,738	580	6,793	27,721	29,100,569	△ 4,981,444	24,119,125
997,999	244,518	665,599	525,653	160,469	50,164	87,914	1,501,457	85,069,820	△ 7,832,573	77,237,247
16,888	△ 15,307	△ 42,681	△ 7,518	△ 30,735	△ 3,022	△ 166	61,611	9,682,350	△ 4,671,099	5,011,251
								2,817,094		2,817,094
							35	576,227	△ 365,724	210,503
							35	3,393,321	△ 365,724	3,027,597
3,762	1,436						22,861	11,244,391	△ 5,206,443	6,037,948
3,762	1,436						22,861	11,244,391	△ 5,206,443	6,037,948
△ 3,762	△ 1,436						△ 22,826	△ 7,851,070	4,840,719	△ 3,010,351
								1,895,100		1,895,100
10,000	13,048	23,783	1,617	30,000				3,747,477		3,747,477
		39,944					45,000	254,363	△ 169,620	84,743
10,000	13,048	63,727	1,617	30,000			45,000	5,896,940	△ 169,620	5,727,320
							45,000	5,726,899		5,726,899
675	11,895		2,415			1,143	738	10,715	2,996,521	2,996,521
		44,716						369	294,876	294,876
675	11,895	44,716	2,415			1,143	738	56,084	9,018,296	9,018,296
9,325	1,153	19,011	△ 798	30,000	△ 1,143	△ 738	△ 11,084	△ 3,121,356	△ 169,620	△ 3,290,976
22,451	△ 15,590	△ 23,670	△ 8,316	△ 735	△ 4,165	△ 904	27,701	△ 1,290,076		△ 1,290,076
182,028	69,523	59,887	35,893	35,816	16,827	15,819	345,112	8,369,927		8,369,927
204,479	53,933	36,217	27,577	35,081	12,662	14,915	372,813	7,079,851		7,079,851

会計間取引明細

1 連結行政コスト計算書、連結キャッシュ・フロー計算書 (内部取引の相殺)

会計名	一般会計	下水道事業会計	国民健康保険事業会計	老人保健(医療)会計	介護保険事業会計	水道事業会計	出資団体			
							(財)武蔵野市開発公社	武蔵野市土地開発公社	(財)武蔵野市福祉公社	
繰入金 補助金等	建設費分		348,933			16,791				
	公債費分		124,620							
	その他分	事業収入						12,852	5,206,443	339,299
		その他	10,795	398,447	1,182,792	702,095	1,201,985	205,608	20,657	216,108
	計	10,795	872,000	1,182,792	702,095	1,201,985	222,399	33,509	5,422,551	433,520
繰出金 補助金等	建設費分	5,206,443								
	公債費分									
	その他分	物件費	2,395,847	202,996	50		99,882			16,717
		その他	4,970,629				20	10,795		
	計	12,572,919	202,996	50		99,902	10,795			16,717

2 連結貸借対照表 (債権・債務、投資・資本の相殺)

(単位：千円)

団体(会計)名	市からの未収金	市への未払金	市からの出えん金
下水道事業会計			
国民健康保険事業会計			
老人保健(医療)会計			
介護保険事業会計			
水道事業会計	16,791		
(財)武蔵野市開発公社			10,000
武蔵野市土地開発公社	106,641		5,000
(財)武蔵野市福祉公社	13,875	16,718	415,995
(財)武蔵野文化事業団		51,630	800,000
(財)武蔵野健康開発事業団	5,731		400,000
(財)武蔵野スポーツ振興事業団		26,644	500,000
(社)武蔵野市シルバー人材センター	21,133	240	
(福)武蔵野市民社会福祉協議会	603	1,157	
武蔵野市国際交流協会			
武蔵野市子ども協会			
(福)武蔵野	6,993	55,966	5,000
合計	171,767	152,355	2,135,995

(単位:千円)

			援助団体					計	連結相殺	
(財) 武蔵野文化事業団	(財) 武蔵野健康開発事業団	(財) 武蔵野スポーツ振興事業団	(社) 武蔵野市シルバー人材センター	(福) 武蔵野市民社会福祉協議会	武蔵野市国際交流協会	武蔵野市子ども協会	(福) 武蔵野			
								365,724	資産形成	収入から控除
							45,000	169,620	財務活動	
839,726	41,230	582,549	192,025	20,874	120		500,835	7,735,953	行政サービス	
	111,313		66,774	63,396	43,743	86,956	362,829	4,767,719		
839,726	152,543	582,549	258,799	84,270	43,863	86,956	908,664	13,039,016		
								5,206,443	資産形成	支出から控除
									財務活動	
51,630		26,644	240	1,157			55,966	2,851,129	行政サービス	
								4,981,444		
51,630		26,644	240	1,157			55,966	13,039,016		

【資料】

主な建物一覧表【取得価格3億円以上】

(平成20年3月31日現在)

(単位：円)

施設名	建物名	取得価格	取得年月	減価償却費	減価償却累計額	差引額
境南小学校	校舎	599,800,000	昭和 47 年 3 月	13,495,500	472,342,500	127,457,500
井之頭小学校	校舎	475,990,000	昭和 50 年 1 月	10,709,775	342,712,800	133,277,200
中央コミセン	コミセン	316,290,000	昭和 50 年 3 月	7,116,525	227,728,800	88,561,200
第四中学校	校舎	910,000,000	昭和 50 年 7 月	20,475,000	634,725,000	275,275,000
くぬぎ園	くぬぎ園(ホーム)	1,387,643,720	昭和 52 年 3 月	31,221,983	936,659,490	450,984,230
桜野小学校	校舎	545,700,000	昭和 52 年 6 月	12,278,250	356,069,250	189,630,750
本宿小学校	校舎	716,800,000	昭和 53 年 10 月	16,128,000	451,584,000	265,216,000
市庁舎	市庁舎	4,093,000,000	昭和 55 年 6 月	92,092,500	2,394,405,000	1,698,595,000
障害者福祉センター	福祉センター	321,100,000	昭和 55 年 10 月	7,224,750	187,843,500	133,256,500
第六中学校	校舎	352,570,000	昭和 56 年 3 月	7,932,825	206,253,450	146,316,550
市営プール	市営プール(管理棟)	395,820,000	昭和 57 年 5 月	8,905,950	213,742,800	182,077,200
第一中学校	体育館(屋上プール)	702,000,000	昭和 57 年 10 月	15,795,000	379,080,000	322,920,000
第三中学校	体育館(プール)	922,414,000	昭和 58 年 2 月	20,754,315	498,103,560	424,310,440
吉祥寺南町コミセン	コミセン	330,957,000	昭和 58 年 3 月	7,446,532	178,716,768	152,240,232
武蔵野芸能劇場	芸能劇場	494,750,000	昭和 58 年 11 月	11,131,875	256,033,125	238,716,875
市民文化会館	文化会館	5,270,590,000	昭和 59 年 5 月	118,588,275	2,608,942,050	2,661,647,950
市民会館	市民会館	420,200,000	昭和 59 年 7 月	9,454,500	207,999,000	212,201,000
クリーンセンター	ごみ処理場	1,021,460,000	昭和 59 年 10 月	22,982,850	505,622,700	515,837,300
第二中学校	体育館	579,200,000	昭和 59 年 12 月	13,032,000	286,704,000	292,496,000
井之頭小学校	体育館	548,800,000	昭和 62 年 2 月	12,348,000	246,960,000	301,840,000
西部コミセン	コミセン	360,200,000	昭和 62 年 5 月	8,104,500	153,985,500	206,214,500
保健センター	保健センター	1,583,460,000	昭和 62 年 9 月	35,627,850	676,929,150	906,530,850
吉祥寺図書館	吉祥寺図書館	560,200,000	昭和 62 年 9 月	12,604,500	239,485,500	320,714,500
陸上競技場・体育館	陸上競技場・体育館	4,203,500,000	平成 1 年 9 月	94,578,750	1,607,838,750	2,595,661,250
市営プール	温水プール	958,677,000	平成 1 年 9 月	21,570,232	366,693,944	591,983,056
第四中学校	体育館・プール棟	2,615,170,000	平成 4 年 6 月	58,841,325	823,778,550	1,791,391,450
高齢者総合センター	高齢者総合センター	1,452,300,000	平成 5 年 5 月	32,676,750	424,797,750	1,027,502,250
吉祥寺ナーシングホーム	建物	1,603,170,000	平成 6 年 11 月	36,071,325	432,855,900	1,170,314,100
中央図書館	図書館	3,691,520,000	平成 6 年 11 月	83,059,200	996,710,400	2,694,809,600
千川小学校	校舎	2,976,900,000	平成 7 年 3 月	66,980,250	803,763,000	2,173,137,000
桜堤ケアハウス	桜堤ケアハウス	943,365,446	平成 8 年 3 月	21,225,722	233,482,942	709,882,504
スイングホール		1,384,602,548	平成 8 年 6 月	31,153,557	311,535,570	1,073,066,978
千川小学校	体育館	1,802,901,000	平成 8 年 10 月	40,565,272	405,652,720	1,397,248,280
境保育園	境保育園	319,300,000	平成 9 年 2 月	7,184,250	71,842,500	247,457,500
0123はらっぱ	乳幼児施設	356,160,000	平成 13 年 4 月	8,013,600	40,068,000	316,092,000
武蔵野商工会館	商工会館	1,617,315,000	平成 13 年 5 月	36,389,583	181,947,915	1,435,367,085
桜野小学校	体育館・通級学級棟	782,817,000	平成 14 年 4 月	17,613,382	88,066,910	694,750,090
武蔵野赤十字病院 感染症病棟	感染症病棟	400,915,000	平成 15 年 4 月	9,020,587	27,061,761	373,853,239
吉祥寺シアター	劇場	550,095,000	平成 17 年 2 月	12,377,137	24,754,274	525,340,726
大野田小学校	校舎	3,448,305,000	平成 17 年 3 月	77,586,862	155,173,724	3,293,131,276
市庁舎西棟	市庁舎西棟	2,680,608,000	平成 19 年 6 月	0	0	2,680,608,000

*取得価格は、建物及び付属施設の工事費を計上しています。

武蔵野市財務部財政課

〒180-8777

武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1803

FAX 0422-51-9141

E-mail sec-zaisei@city.musashino.lg.jp

URL <http://www.city.musashino.lg.jp>